



# 奈良町の

ちょっといいところを  
見て知る秋の1週間

— きたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺 —

# 奈良町見知ル

## 2022 年度 事業報告書



# 目 次

## 奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間 奈良町見知ル 2022

### 第1部 奈良町見知ル 開催報告 ..... 2

Newsletter 特別号① 特集：実行委員会企画

Newsletter 特別号② 特集：特別公開スポット

Newsletter 特別号③ 特集：特別イベント

### 第2部 奈良町見知ル 開催までの歩み ..... 17

Newsletter No.1 第1回実行委員会 / 2022年4月14日(木)

Newsletter No.2 第2回実行委員会 / 2022年5月12日(木)

Newsletter No.3 第3回実行委員会 / 2022年6月9日(木)

Newsletter No.4 企画参加者向け説明会・交流会 / 2022年6月22日(水)

Newsletter No.5 第4回実行委員会 / 2022年7月14日(木)

Newsletter No.6 第6回実行委員会 / 2022年9月8日(木)

Newsletter No.7 第7回実行委員会 / 2022年10月14日(金)

Newsletter No.8 ボランティア説明会 / 2022年10月22日(土)

Newsletter No.9 お疲れ様会(振り返り) / 2022年11月30日(水)

実行委員会等の開催記録

奈良町見知ルを終えて

### 第3部 参加者の声 ..... 37

特別イベント参加者アンケート結果

綴って見知ル

奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間

# 奈良町見知ル 2022

奈良町のきたまち、ならまち、高畑、京終では、各エリアの特色を探りつつ、それを「まちの個性」としていかした「まちづくり」が行われています。これらのエリアにある歴史的建造物・社寺・生業の場所といった「地域の宝」となっている「ちょっといいところ」を見て知ることができる「奈良町見知ル」を、2022年11月6日（日）から13日（日）までの8日間開催しました。

このイベントは、多くの方が奈良町の「ちょっといいところ」を知り、地域に足を運ぶきっかけを作ること、また、そこに暮らす人たちが「まちの魅力」を再発見する機会となること、さらに各エリア相互に「まちの個性」を理解し合うこと、奈良町全体の魅力発信につなげていくことを目的としたイベントです。

## 開催期間

二〇二二年十一月六日（日）～十三日（日）の八日間

## 企画内容

### 特別公開

「地域の宝」となっている「ちょっといいところ」の公開

### 特別イベント

奈良町の「ちょっといいところ」や各エリアの魅力に触れることができるイベント

### 連携企画

奈良町見知ルの期間中や期間前後で行われる奈良町見知ルの趣旨に関連する企画の広報連携

## 企画の対象

奈良町（きたまち、ならまち、高畑、京終・紀寺）に所在する歴史的建造物、社寺、生業に関わる場所や展示など

# 第1部

## 奈良町見知ル 開催報告



2022年11月30日発行

奈良町見知り実行委員会

# Newsletter 特別号①

特集：実行委員会企画



## 奈良町見知り！オープニングトーク

「まちのちょっといいところのを見つけ方」

11/6 (日) 19:00 ~ 20:30

ゲストスピーカー：内田忠賢さん（奈良女子大学教授／人文地理学・民俗学）

聞き手：倉橋みどり（奈良町見知り実行委員会委員長／奈良市観光大使）

奈良町らしい「ちょっといいところ」って？そんな場所を見つける楽しさや意義についても語ってまいります。

会場：奈良町にぎわいの家（オンライン配信有）

参加料：大人 1,000 円 学生 500 円（お茶と中西与三郎提供のお菓子付き）

定員：30人

## ならまち町名由来板 de フォトラリー

11/6 (日) ~ 13 (日)

10:00 ~ 16:00

ならまちエリアに点在する町名由来看板を読んで、関連スポットを探して撮影しよう！見知ルのインフォメーションブースで用紙を貰って、チャレンジしてね！

5箇所コンプリートで各日先着50人にオリジナルポストカードをプレゼント！さらに各日先着5人には奈良町見知り缶バッジもプレゼント！

フォトラリー用紙配布・景品引き換え場所：  
インフォメーションブース／奈良町物語館

【企画：奈良町座】



## #写して見知り！奈良町フォトマップ

11/13 (日) 10:00 ~ 16:00

奈良町見知り期間中に、奈良町の魅力が伝わる写真のハッシュタグ投稿（#写して見知り）を募集！集まった写真で奈良町フォトマップを一緒に作りましょう！

当日、会場に来場のうえ投稿していただくと、先着50名に粗品と奈良町見知り缶バッジをプレゼント！

インフォメーションブース／奈良町物語館

【企画：奈良町 Like プロジェクト&学生団体「あそぶなら」】





## 奈良市立西部公民館「せいぶ大人の学舎」館外学習 学生ガイドツアー

11/12 (土) 13:00 ~ 16:00

【きたまちコース】北山十八間戸→鍛冶千→旧細田家住宅→武蔵野美術大学奈良寮→転害門観光案内所  
→八坂神社→奈良女子大学→旧鍋屋交番きたまち案内所→初宮神社→近鉄奈良駅

【ならまちコース】興福寺北円堂・三重塔→采女神社→猿沢池→奈良町物語館→奈良町にぎわいの家  
→元興寺塔跡→御霊神社→砂糖傳増尾商店→藤岡家住宅→奈良町南観光案内所

【企画：天理大学生涯教育専攻】



綴って見知ル 11/6 (日) ~ 13 (日)  
10:00 ~ 16:00

設置スポット：旧細田家住宅  
今西家書院  
璉城寺  
インフォメーションブース

【企画：学生団体「あそぶなら」】



インフォメーションブース  
11/6 (日) ~ 13 (日) 10:00 ~ 16:00



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter 特別号①

2022年11月30日発行

編集：杉山 晋平 (天理大学)

写真：田中 梨絵 (奈良市)

木村 愛美 (天理大学)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp







2022年11月30日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter 特別号②

## 特集：特別公開スポット

### 史跡 北山十八間戸

ふだんは閉まっている歴史的な建造物の内部が見られるだけでもうれしいのに、実際に中に入ることができ、とても感動を覚えました。

難病者の隔離施設だったという歴史を踏まえた上で窓から東大寺大仏殿が眺められることを知ると感慨深いものがあります。僧侶の方に事前インタビューするなど宗教的な説明が少しあってもよいのかもしれません。

特別公開二日目雨が雨天となり、傘の置き場所や濡れた衣服で入っていくことに少し躊躇しました。

(倉橋みどり)



### 珈琲やかじせん 鍛冶千

トラス構造についての説明パンフレット、近辺の地図(ともにオリジナル)を無料配布されていました。

説明は随時オーナーが行っていました。熱が入り過ぎて来訪者がやや滞留し、外で待っている人も多かった様子でしたが、この建物を後世に残していきたいという熱意がしっかりと伝わってきました。

サーブスされていたスペースャリテコヒーは量もたっぷりで淹れたてで美味。公開日は少し肌寒く、一層うれしく感じました。

(倉橋みどり)



奈良県指定有形文化財

### 旧細田家住宅

天気にも恵まれ、裏側の戸が開いていたので、全体的に空間がとても明るく、心地よく感じました。

パンフレットを見ながらの見学だけでは当時の様子がイメージしづらかったのですが、係の人に質問をすると、とて



もていねいに答えて下さいました。各場所の説明パネルもよかったです。

生活感があるより興味が湧くので、当時の家具や日用品など、また古い写真や資料なども合わせて展示していただく機会を今後期待したいと思います。

(倉橋みどり)



### 武蔵野美術大学 奈良寮

中が思っていた以上に広く、門から見ると印象とまったく違って、近所の人も「へえ、こんな建物だったのか」と驚いておられました。ふだんこの施設(奈良寮)を管理されている方が非常に具体的な説明をしてくださったので、歴史的価値とは若干離れるかもしれませんが、ここを寮として活用しておられる武蔵野美術大学の学生さんの様子な



どにも触れられ、楽しかったです。建築物としての説明がもう少しあるとさらに感動が深まったように思います。

(倉橋みどり)

### 重要文化財 藤岡家住宅

通りで足をとめた方々が藤岡さんのお話に興味を持って入っている様子は、少し離れた場所からでもよくわかりました。その輪の中に加わってみると、どうやら近隣の方も多く、初めて内部の様子を見ることができて感動されました。

藤岡家住宅は十八世紀後半に建てられた重厚感のある素晴らしい町家で、築二百年を優に超えています。奈良町見知り期間中、藤岡さんのお心



遣いで、店の間の部戸、揚店がひらいた様子を特別に見せていただくことができました。

当初は生葉を扱っていたようですが、幕末頃からはろうそく、鬢付油(整髪料)、おはぐろ等の小間物、昭和に入ると紙類といったように、時代によって商いが変化していき

ました。この奈良町に残る貴重な文化財の保存・管理を個人で担うにとどまらず、地域の皆さんに公開までしてくださることに、ただただ感謝の気持ちでいっぱいです。

(杉山晋平)





## 法徳寺

「周りの人が幸せにならないと、自分も幸せにならない。周りの人が幸せになることで、はじめて自分も幸せになる、ということなんです。」

最終日の午後、今年の奈良町見知ルで最後に訪れた特別公開スポットが法徳寺さんです。ご住職、倍巖良明さんの由緒案内を本堂で聞きます。

融通念仏宗は、平安末期に良忍上人によって開宗された、初めての日本生まれの仏教です。法徳寺は元興寺旧境内に位置しますが、一六〇五年、倍巖上人によってこの融通念仏宗に属するようになりました。本堂と観音堂には多くの仏像が安置されています。



冒頭の言葉は、「南無阿弥陀仏」に込められているという願いだそうで、心にスツと沁み入りました。この言葉を胸に、穏やかな気持ちで今年の奈良町見知ルを終えることができました。

(杉山晋平)



## 重要文化財 今西家書院

奈良町見知ルの開催期間中、幸運にも二度訪れる機会を得ました。

日によって異なる表情をみせる庭園に、すっかり心を奪われました。秋晴れの爽やかな庭園、そして、しとしとと雨が降る中で鮮やかに燃える紅葉の庭園。訪れる度に少しずつ色合いを変えていく紅葉のグラデーション。書院造の座敷から、思わず見惚れてしまいました。

元は興福寺大乗院に仕えた福智院家の居宅で、庭に面する二室は書院造として重要な文化財に指定されています。



期間中は、佐藤佳雄絵画展が同時開催でした。書院造の座敷、秋の庭園、そして、緻密で繊細な人物画とが重なる空間は、言葉をおよぶような美しさでした。

(杉山晋平)

## 登録有形文化財 藤間家住宅

「ここはずっと改修中なんです。アートが好きなのが集まって、自由な表現活動をつくり続けていくという意味で、『改修中』であることを大事にしています。」

ギャラリーの展示作品を紹介していただく合間、佐久間さんが「改修中」という言葉に込めた意味を語ってくださいました。

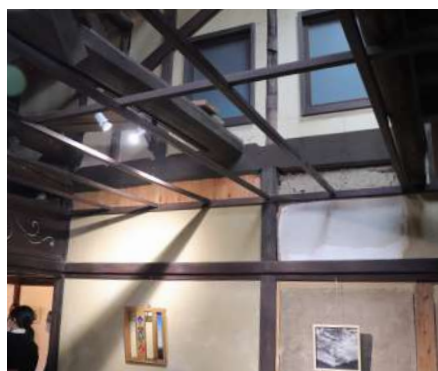
高畑町、旧柳生街道に面して土堀に囲まれた屋敷は十八



世紀から残る社家住宅で、春日大社で神職を代々務めた藤家間の住宅です。いったんは傷みが進んだ空き家となっていましたが、地域に保全活動の輪を広げながら、今は地域の文化的価値を高めるアートの拠点となっています。

歴史を守り、歴史をつくる。進化し続けるその試みに触れることができました。

(杉山晋平)



奈良学園セミナーハウス  
奈良県指定有形文化財

### 志賀直哉旧居

昭和初期に志賀直哉自身が設計した数寄屋風の造り。美しい自然の風景に囲まれ、特に2階の客間から見える若草山の風景に心を奪われます。

洋風の建築様式も取り入れられ、食堂からサンルームはまるで絵画のような美しさです。また、家族への温かい思い、親として子どもの思う優しい心が建築に生きているところも印象に残りました。

館長の中原さんのガイドが素敵で、館内をご案内いただきながら、志賀直哉をめぐる



エピソードをうかがっている  
と、目に映る風景に当時の暮らしが浮かんでくるようです。  
何度でも訪れたくなる、高畑のちよつといいところです。

(杉山晋平)



### 礎城寺

「私、ここの住職さんが大好きなんです。今日はこのパンフレットを見て、お話できるかなと思って会いに来たのよ。」

五十年に一度、本尊の御袴を着替える法要が行われることで有名です。奈良町見知ルでは、その御袴を見学しつつ、お庭を眺めながらゆったりと手作りのお茶を楽しめます。

この日、補充分のパンフレットを持ってボランティアスタッフさんと一緒にうかがいました。そして、私たちは、パンフレットをご覧になったというお客様とご住職の再会に居合わせ、素敵な時間を一緒にさせていただきました。



澄み渡る秋晴れの空、美しいお庭を前に交わされる楽しい会話。ゆったりと流れる優しい時間です。「奈良のいいところを頑張って発信してね！」と応援の言葉までいただきました。

人と人との素敵につながりにも感じられる、奈良町のちよつといいところです。

(杉山晋平)



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter 特別号②

2022年11月30日発行

編集：杉山 晋平 (天理大学)

写真：木村 愛美 (天理大学) 杉山 晋平

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





2022年11月30日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter 特別号③

## 特集：特別イベント



まちかど博物館見学ツアー  
／きたまち

### 京街道と息づく伝統！

「この色はどうやって出すの？」「材料の産地は？」「掛け軸にシミができるのはなんで？」

見学先の「木画」の坂本曲齋さん、「表具」の三木栄秀堂さんで、館長から歴史・文化に職人魂が混ざり合った素敵なお話を聞いたお客様、はじめは静かに、でも熱心に聞き惚れていたのが、最後は質問の嵐。

京街道を上り、途中で奈良の町を見下ろして江戸時代の旅人の気持ちになりつつ、ゆったりとした時間が過ぎて、最後の植村牧場さんで、おいしい牛乳の話聞いて、解散。



解散後には植村牧場で一緒にお食事をするお客様もいらっしやあって、一期一会、「まちとひと」「文化とひと」「ひととひと」イベントは素敵なお会いの場なんだなとしみじみ思いました。

(田中梨絵)

「こんな面白いツアー、参加しないのはもったいない！」

「墨屋」の松壽堂さん、「薬屋」の菊岡漢方薬局さん、「蚊帳屋」の吉田蚊帳さんを見学し、元興寺旧境内を歩いてまちの成り立ちを体感したお客様の一言です。

こちらのツアーも質問が多くて楽しんでいただけている様子。「そうでしょう？」と返しかけたのをグツと堪えて、最後の見学先「町家の庭園」の辻家住宅さんへ。

辻家では「立派な中庭」だけでなく「生活の裏庭」も案内いただきました。「町家の裏側ってこんなふうになってたんですね、初めて見ました！」という皆さんの驚きの声に「そうですね、最後にとっておきの一言でご案内を終了。

実際にものを見て、話を聞いて、体感して、会話を楽しくするのが、まちかど博物館の醍醐味ですね。

(田中梨絵)

まちかど博物館見学ツアー  
／ならまち

### 元興寺旧境内と息づく伝統！

「墨屋」の松壽堂さん、「薬屋」の菊岡漢方薬局さん、「蚊帳屋」の吉田蚊帳さんを見学し、元興寺旧境内を歩いてまちの成り立ちを体感したお客様の一言です。

こちらのツアーも質問が多くて楽しんでいただけている様子。「そうでしょう？」と返しかけたのをグツと堪えて、最後の見学先「町家の庭園」の辻家住宅さんへ。

辻家では「立派な中庭」だけでなく「生活の裏庭」も案内いただきました。「町家の裏側ってこんなふうになってたんですね、初めて見ました！」という皆さんの驚きの声に「そうですね、最後にとっておきの一言でご案内を終了。

実際にものを見て、話を聞いて、体感して、会話を楽しくするのが、まちかど博物館の醍醐味ですね。

(田中梨絵)

「参加者の皆さんの声」

もう少しゆくり見たいところもあったけど、コンパクトに普段は入れないところを見せていただいていたよかったです。こんな機会が増えたいいな。

あっといふ間の2時間、とても楽しかったです。田中さんのガイドもグッド！こんな機会をまたもっとならまちでお願いします。





## 大正時代の〈工場跡〉 特別ガイド

工場跡事務所

ガイド役は、喜多和夫さん。一九二五年に曾祖父が創業したこの工場では、人々の健康長寿を願い、乳酸菌の研究と「フトルミン」という乳酸菌飲料の製造が行われていました。そして、製造休止から三十年の時を経て、喜多さんはこの工場をリノベーションして、その事務所スペースにカフェをひらかれました。

「ここを片づけて、整理していくうちに、少しずつ『空気』が変わっていくのを感じたんです。」



閉鎖されていた工場内を片づけ、当時の面影を大切にリノベーションしていくには、長い時間がかかったそうです。その作業を進めるうちに、この場所の「空気」が少しずつ変わっていくのを感じた、と喜多さんは語ります。

この工場が動いてきた過去の記憶、そして、新たに時を刻み始めている今この瞬間。折り重なる時間の流れを教えしてくれる「空気」は、凛としているけれども柔らかく、温かさを感じました。

(杉山晋平)

〔参加者の皆さんの声〕  
奈良県は古い建築物をほとんど壊していいって、新しいビルにかわっています。古くて価値のある建造物の保存に力を入れていただければ幸いです。

歴史的建造物に興味があるので、他にも今後このような企画があれば面白いと思います。

奈良が大好きですが、まだまだ知らないことがたくさんあると感じたので、古い建物に入る機会、知る機会が増えれば嬉しいですね。

地域に根差したツアーで興味深かった。令和5年度も実施していただきたい。

## ならまち中将姫ゆかりの 寺院をたどる

徳融寺・誕生寺

伝説の人物・中将姫をテーマに、父・豊成の屋敷跡とされる誕生寺と徳融寺を訪ねるツアーでした。

二寺ともに事前予約が必要で、個人ではなかなかお参りにくい面があります。拝観できたことだけでなく、ご住職などお寺の方に直接お話を聞けることにも参加者は感動してくださいました。

点と点を結び、その場に関わる方、伝説を語り継いでいる方とも出会うことができる講座は、奈良町見知ルの「眼玉企画」になりうると感じました。

(倉橋みどり)



〔参加者の皆さんの声〕

市内にいても、知らないことがまだまだあると痛感しました。機会があれば、また参加したいです。

見知ル、すごいですね。奈良にいなから知らないところが多く、制覇してみたくなりました。行ったところにメーカーをしてみました。ありがとうございます。

このようなイベントの継続が、まちの文化を守り、引き継ぐことの一端になると思います。また参加したいです。

気になった二寺を拝観するとともに、お寺の方から詳しく説明が聞けて良かったです。



## 春日山不空院境内 特別ガイド

不空院

一箇所、一箇所ゆっくり丁寧に。

春日山不空院さんでは、副住職の三谷さんが境内の中を護摩堂、鎮守堂、本堂とご案内くださいました。

仏様のお話から、建物のお話、行事のお話なども聞きながら、境内を隅から隅まで三谷さんの案内で見学するお客様。護摩堂では、建ってから八年ほどの白かった漆喰壁が護摩行によって真っ黒になっている話を聞いて驚いたり、

秘仏をルーペでじっくり拝観したり、境内の小さなお社にも参拝したりと、なんだかとてもゆっくりとした時間が流れていました。

お客様お一人一人が仏様やお社で時間をかけてお祈りをする様子を見てみると、奈良時代の鑑真和尚から現代まで続く信仰の場という歴史の延長に、今まさにいるんだなという気持ちになりました。まるで、三谷さんとお客様と一緒に紡ぐ時間におじゃましているかのようでした。

(田中梨絵)



## 柳生街道 高畑ツアー

今西家書院・藤間家住宅・不空院

あいにくの小雨の中ではありませんでしたが、奈良町見知ルに参加する三つのスポットを巡りながら、柳生街道、高畑エリアを歩く特別ツアーが開催されました。

ガイドは、郷土史家の津田慎一さん。訪れる先々でも、道すがらでも、津田さんの親切で丁寧な解説に参加者の皆さんも大満足です。

最初に訪れたのは、今西家書院さん。子持障子や部戸、茶室や煤竹の天井など、参加者の皆さんも興味津々で説明を聞いておられました。

さて、ツアー一行は柳生街道を歩き、頭塔を横目にさら



に進んでいきます。

特徴的な土塀、門をくぐって到着したのが藤間家住宅さん。中に入って目の前に広がるギャラリーには、思わず目を奪われます。津田さんから土塀の保全・修復についても解説をしていただきました。

最後に辿り着いたのが、春日山不空院さん。本堂の不空羅索観音像、鎮守堂の宇賀弁財天女坐像を拝観しました。鎮守堂の天井絵の鮮やかさ、素晴らしさに見惚れて、なかなかその場を離れられなくなっていました。

奈良町見知ルのスポットを結んだツアー企画。参加者の皆さんからも好評の声をいただきました。

(杉山晋平)

〔参加者の皆さんの声〕

今まで行きたいと思ってたけど、行けていなかったところを三件制覇しました！

別の特別イベントで他の場所のお話も聞き、そちらにも興味がわきました。イベントが終わったからですが、行くのと思っています。こんな風にきつかけづくりにもなるし、お店や施設の方とお話ができた、とても豊かな時間が過ごせたとおもっています。

地味ではあるが、歴史的に意義のあるものなどを公開していただけるのは大変嬉しい。

## 昭和初期の〈奈良町家〉 登録有形文化財の

町家で過ごすひととき

京終やまぼうし

戦後の奈良の興業と観光を支えてこられた谷井友三郎さんゆかりの町家を見学し、京終やまぼうし焼菓子と飲み物でくつろぐ素敵なひとときです。

柔らかく優しい灯りとガラス障子、秋を感じさせる中庭と渡廊下、店主の吉岡さんの親切で温かい案内。この町家の記憶とともに、残されています。



た文化財や記録、家財道具は吉岡さんご夫婦が大切に保存してくださっています。

美味しい焼き菓子を味わい、町家に刻まれた暮らしと歴史を思いやる時間となりました。あ。

(杉山晋平)

〔参加者の皆さんの声〕

奈良の町家のことを知ることができて、勉強になりました。おいしいケーキと飲み物、お土産もありがとうございました。なかなか時間が合わず来ることができなかつたのが、このイベントを通じて参加することができて良かったです。

やまぼうしさんのお菓子が好きで何度か購入させていただきました。念願の喫茶利用でしたが、町家のご説明もしていただきました。大変有意義な時間でした。モンブランも珈琲も大変美味しかったです。大満足のイベントでした。

店主のご夫婦がとてもいい方で、ほっとした時間を過ごせました。

建物も見学させていただけ、美味しいデザートもいただきました。ありがとうございます。



レンガ造りの「醤油蔵」

醤油の製造現場特別ガイド

イゲタ醤油(株) 井上本店

「ここでは『SDGs』って言われる前から『SDGs』に取り組んでいたんですね！」  
 帰り際、一人の参加者が口にしたこの言葉に深く共感しました。大正終わりのレンガづくりの氷室を醤油蔵とし、仕込みから長期間の発酵・熟成までの醸造工程には無駄がなく、むしろ驚きは酵母の力を活かして生み出されるプロセスの循環にあります。今、取り組んでおられるのが「木桶」仕込みの醤油づくり。木桶での醸造に回帰しながら、これからの醤油づくりの道を拓くという新たな挑戦も始まって



います。

ガイドは、6代目の吉川さん。とても気さくで優しいお人柄も相まって、お話にぐんぐん引き込まれました。参加者の皆さんも吉川さんが語る醤油づくりの精神や哲学に深く首肯しながら、大満足の様子でした。

(杉山晋平)

コミュニティ駅長さんの

京終駅舎歴史さんぽ

京終駅舎・駅前広場

コミュニティ駅長さん、丸山清文さんのガイドで京終駅舎の歴史さんぽ。当時の産業や暮らしのお話を聞きながら、目の前で今と昔の風景が重なって見えてくるかのように



す。また、今回のイベントに合わせて、往時をしのばせる貴重なお宝も公開され、参加者の皆さんも感嘆の声をあげていました。  
 歴史さんぽの終了後、駅舎の前で肩を並べて語り合う駅長さんと参加者の方々の姿がとても素敵でした。いつまでも大切にしていきたい、地域の記憶が刻まれた駅舎です。

(杉山晋平)

(参加者の皆さんの声)

今日のようないイベントは、地元民でも知らなかったことをたくさん知ることができると、また期待、希望します。  
 近くに住みながら知らなかったことをたくさん知ることができました。こういうイベントに参加させてくださったんです。



近くに住んでいながら、なかなか京終駅に来ることはなく、晴天の秋の日にじっくり駅舎の話を聞いて非常に良かった。ご案内くださった駅長さん、市の職員さんのお人柄がとても良くて、良い時を過ごせました。ありがとうございました。

奈良市に引越してきて二年、歴史のある奈良町の近くに住んでいます。今後も貴重な歴史を学んでいきたいです。本日はありがとうございました。

ローカルの方からのお話を楽しみにしています。また参加したいです。よろしくお願いいいたします。

まちの昔の様子がわかるのは楽しいことでした。これからもゆっくりと案内していただく企画を期待します。

奈良町見知ル実行委員会 Newsletter 特別号③

2022年11月30日発行

編集：杉山 晋平 (天理大学)

写真：勝野 一 (奈良まちづくりセンター)

田中 梨絵 (奈良市) 杉山 晋平 他

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



1 京街道と息づく伝統! / きたまち

11/10 木 10:00-12:00 参加費 無料

▶10:00 集合  
かつて奈良に来る人々でにぎわった京街道を歩きながら、木画や表装工房、牧場を見学するツアーです。



7人

2 元興寺旧境内と息づく伝統! / ならまち

11/11 金 10:00-12:00 参加費 無料

▶10:00 集合  
元興寺旧境内にある名所を巡りながら、町家で営まれている墨屋、染屋、蚊帳屋と町家の庭を見学します。



6人

# 奈良町見知り 来場者/参加者数

延べ 3,838人

特別公開・イベント 2,623人  
インフォメーションブース 1,215人

2 産業遺産ガイド (ドリンク付き)

11/10 木 13:00-14:00 参加費 500円以上 (寄附制)

▶13:00 集合  
登録有形文化財でもある工場跡内を主宰者が案内します。



7人

3 大学教授が案内! 産業遺産ガイド (ドリンク付き)

11/12 土 13:00~14:30 ②14:00~17:30 参加費 1,500円

▶集合①12:50 ②15:50分  
産業経済学の専門家である二階堂達郎先生が、時代背景や当時の設備などを中心に工場跡を案内します。



17人

4 早起き! 産業遺産ガイド (ランチ付き)

11/13 日 9:30-11:30 参加費 2,500円

▶9:30 集合  
工場跡の内部を主宰者がじっくり案内し、カフェで人気の「朝のセットメニュー」をゆっくりお楽しみいただけます。



9人

3 ならまち中將姫ゆかりの寺院をたどる / 徳融寺・誕生寺

11/7 月・11/8 火 13:00-15:00 参加費 2,500円 (拝観料込み)

▶13:00 集合  
奈良時代の伝説の女性・中將姫。父・藤原豊成公の屋敷跡に建つ誕生寺、徳融寺を拝観、法話をお楽しみいただけます。両寺とも御朱印対応可。



15人

4 春日山不空院境内特別ガイド / 不空院

11/12 土・11/13 日 13:00-14:30 参加費 300円 (別途、拝観料1,000円が必要です)

▶13:00 集合  
例年の正倉院特別拝観(本堂・鎮守堂)に加え、副住職の境内特別案内をお楽しみください。日頃は入れない護摩堂に入室いただけます。



6人

5 柳生街道 高畑ツアー / 今西家書院・藤間家住宅・不空院

11/13 日 13:00-15:00 参加費 500円 (別途、見学料・拝観料1,400円が必要です)

▶13:00 集合  
奈良町見知りに参加する3スポットを巡りながら柳生街道を歩く特別ツアーです。案内役は郷土史家の津田慎一さん。



10人

6 昭和初期の〈奈良町家〉登録有形文化財の町家で過ごすひととき (ドリンク・お菓子付き) / 京終やまぼうし

11/6 日・7 月 10:00~11:30 ②13:00~14:30 ③15:00~16:30 参加費 700円

▶いずれも開始5分前集合  
店主の案内で奈良の興行師・谷井友三郎のゆかりの町家を見学後、京終やまぼうしの焼菓子と飲み物でおくつろぎください。



36人

7 レンガ造りの〈醤油蔵〉醤油の製造現場特別ガイド (お土産付き) / イゲタ醤油 (株) 井上本店

11/11 金 10:30-11:30 参加費 500円

▶10:20 集合  
レンガ造りの蔵で醤油ができるまでの工程を順に解説付きで案内します。観る、香る、味わうなど五感で学ぶガイドです。



16人

8 コミュニティ駅長さんの京終駅舎歴史さんぽ (お土産付き) / 京終駅舎・駅前広場

11/6 日~11/8 火 13:30-14:30 参加費 無料

▶13:30 集合  
コミュニティ駅長の丸山清文さんがJR京終駅舎の今と昔をご案内! 往時をしのばせる貴重なお室もお見せします。



24人

## オープニング トーク

22人

現地参加14人  
オンライン8人



### 1 奈良町見知り! オープニングトーク 「まちのちょっといいところの見つけ方」

ゲストスピーカー: 内田忠賢さん (奈良女子大学教授/人文地理学・民俗学) 聞き手: 倉橋みどり (奈良町見知り実行委員会委員長/奈良市観光大使) 奈良町らしい「ちょっといいところ」って? そんな場所をみつける楽しさや意義についても語ってもらいます。

11/6 日 19:00-20:30

場 所: 奈良町にぎわいの家 (オンライン配信有)  
参加料: 大人1,000円 学生500円 (お茶と中西と三郎提供のお菓子付き)  
定 員: 30人  
事前申し込み制 (奈良町見知り公式HPから)



**A** 見学 無料

史跡 北山十八間戸

11/12(土)・11/13(日) 10:00-16:00

鎌倉時代にはじまるハンセン病患者救済施設で、わが国の慈善事業の先駆けとなる遺産です。特別に内部を公開します。



奈良市川上町454  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車徒歩5分

255人

**B** 見学 無料

珈琲や かじせん 鍛冶千

11/12(土) 10:00-15:00

車輪や東大寺の鍵などを造っていた鍛冶屋の工房跡です。明治後期の木造トラス建物を公開します。



奈良市今在家町17  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車すぐ


215人

**C** 見学 無料

奈良県指定有形文化財 旧細田家住宅

11/12(土)・11/13(日) 10:00-16:30

奈良町最古、築300年の農家住宅です。草葺の屋根、屋内の牛小屋やかまどなど、町家とは一味違う農家建築を見学できます。



奈良市雑司町40-3  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「今在家」下車徒歩5分

266人

**D** 見学 無料

武蔵野美術大学 奈良寮

11/12(土) 11:00-16:00

仏像修復に功績を残した新納忠之介の旧宅です。昭和63年に改修復元された大和棟高塙造の民家の外観を見学できます。



奈良市雑司町59-1  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「手貝町」下車徒歩3分

202人

**E** 見学 無料

ならまち刀剣ショップ杜園 登録有形文化財 佐笠家住宅

11/11(金)~11/13(日) 13:00-16:00

奈良の伝統工芸一刀彫で知られる森川杜園が建てたと伝わる町家です。その一角にある坪庭を見学できます。



奈良市中筋町9  
アクセス/近鉄奈良駅から徒歩15分

— (諸事情により公開中止)

**F** 見学 無料

重要文化財 藤岡家住宅

11/12(土) 14:00-16:00

江戸時代中期の奈良市内最古の町家です。商家の店の間の部屋(しとみど)・播店(あげみせ)が開いた様子を見ていただけます。



奈良市元興寺町4  
アクセス/近鉄奈良駅から徒歩20分

200人

**G** 拝観 無料

法徳寺

11/13(日) 13:00-16:00

本堂の阿弥陀如来像(奈良市指定文化財)をはじめ、観音堂、毘沙門堂などで貴重な仏像を特別に公開します。住職による由緒案内(14時~、15時半~各15分)があります。御朱印にも対応します。



奈良市十輪町23  
アクセス/近鉄奈良駅から徒歩20分

49人

**H** 見学料 400円 +100円で通称茶サービス

重要文化財 今西家書院

11/6(日)・8(火)~13(日) 10:30-16:00

室町時代の書院造を案内付で見学できます。昭和を代表する庭園研究家森羅(もりおさむ)が探った庭園も必見です。11/10~13は佐藤佳雄絵画展を同時開催。



奈良市福智町24-3  
アクセス/近鉄奈良駅から徒歩20分。近鉄奈良駅からバスで「福智町」下車徒歩3分

331人

**I** 見学 無料

登録有形文化財 藤間家住宅

11/6(日)~8(火)・11(金)~13(日) 13:00-16:00

社家町高畑に唯一残った18世紀にさかのぼる春日大社神官の住宅建築を見学できます。表門・築地塀など古風な屋敷構えも趣があります。同時にアート展、ワークショップなども開催予定。



奈良市高畑町1325-1-1  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「破石町」下車徒歩5分

377人

**J** 見学料 350円

奈良学園セミナーハウス 奈良県指定有形文化財 志賀直哉旧居

11/6(日)~11/13(日) 9:30-17:30

志賀直哉が設計し家族と暮らした旧居。暗夜行路を書き上げた書斎や文人墨客が集った高畑サロンの雰囲気も五感で味わって下さい。10時から16時に直哉関連映像を随時放映予定。



奈良市高畑町1237-2  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「破石町」下車徒歩5分

512人

**K** 拝観料 500円 (お茶付き)

かんじょうじ 璉瑠寺

11/10(木)~11/13(日) 10:00-16:00

50年に一度、ご本尊の御袴を着替える法要が行われることで有名なお寺です。平成10年まで着けられていた御袴の見学と庫裏でお庭を眺めながら自家製のお茶をお楽しみください。



奈良市西紀町45  
アクセス/近鉄奈良駅からバスで「田中町」または「紀寺町」下車徒歩3分

41人

## インフォメーション ブース 1,215人



### 2 ならまち町名由来板 de フォトラリー

ならまちエリアに点在する町名由来看板を読んで、関連スポットを探して撮影しよう！見知ルのインフォメーションブースで用紙を買って、チャレンジしてね！！

5箇所コンプリートで各日先着50人にオリジナルポストカードをプレゼント！

11/6(日)~13(日) 10:00-16:00

フォトラリー用紙配布・景品引き換え場所：インフォメーションブース/奈良町物語館(中新屋町2-1) [企画：奈良町座]

### 3 #写着て見知ル！ みんなでつくろう奈良町フォトマップ

奈良町見知ル期間中に、奈良町の魅力が伝わる写真のハッシュタグ投稿(#写着て見知ル)を募集！集まった写真で奈良町フォトマップを一緒に作りましょう！

当日、会場に来場のうえ投稿していただくと、先着50人に粗品をプレゼント

11/13(日) 10:00-16:00

インフォメーションブース/奈良町物語館(中新屋町2-1) [企画：奈良町 Like プロジェクト & 学生団体「あそぶなら」]

## 第2部

奈良町見知ル  
開催までの歩み

第一回の実行委員会、  
奈良町にぎわいの家にて開催されました！



林啓文さん

(奈良町座)

第一回の委員会では様々な意見が出たことが良かったと思います。これが何回も議論を積み重ねた後の会議であれば話し合いが足りていなかったということになるかもしれませんが、今回は第一回。初回だからこそ様々なアイデアが出るのは良いことです。

今後は奈良町の四つのエリアごとにそれぞれの横のつながりを今よりももっと広く、さらに強力にしていければと思います。今回の実行委員会を踏まえ、今後も話し合いを積み重ねていくことで、最終的にそうなっていくのが理想だと考えています。

田辺七海さん

(天理大学学生)

今回の実行委員会は様々な意見が飛び交い、非常に熱い議論は交わされました。

林さんからお話をうかがい、第一回だからこそ多様な角度から意見が出されたことは、今後に向けてプラスになったのだと気づきました。

学生だからと委縮してしまうこともあるかもしれませんが、むしろ学生であることを強みとして奈良町見知りに貢献できるようにアイデアが出ていきます。



田中梨絵さん

(奈良町にぎわい課)

今日の実行委員会は意見が活発に飛び交って、良かったです。この奈良町見知りは、奈良市だけではなく地域の皆さんとの共催でつくりあげていく事業だから、誰も発言しない静かな会議になることが一番良くないことだと思っています。これから皆さんとたくさん意見を交換しながら準備をしていけたらと思います。

昨年度と比べてメンバーが増えて、以前の手法に加えて新たなやり方や仕組みが出てくるかもしれません。しっかり支えていけるようにしたいです。活動とともに盛り上げていきたいと思っています。

## 東拓実さん

(天理大学 学生)

「支える」や「並走する」といった田中さんの言葉が印象的でした。これは地域の皆さんともしっかりあげていくという気持ちでこめられた言葉であり、ひいては田中さんをはじめ地域の皆さんが互いに信頼で結ばれているからこそその言葉であると思います。そのようなつながりが感じられた第一回実行委員会であつたと振り返っています。

この奈良町にかかわる皆さんが一同に会して話し合う輪に初めて加わり、皆さんが奈良町とそこに暮らす人たちのことを本当に愛していることを実感しました。愛しているからこそ会議が盛り上がり、熱のこもった議論になったのだと思います。私も奈良町を愛する人間の一人として、皆さんとともに活動を盛り上げていけるよう、できることを精一杯にやっています。



## 宮崎 正裕さん

(奈良町にぎわい課)

新たな顔ぶれで、新たな可能性をひらいていくことにワクワクしています。

任意のまちづくり団体や行政職員は、違った場所や機会でも同じ人がかわって、顔が重なっていくことが多々あります。そして、それはどうしても思考が膠着してしまう時も出てきてしまいます。

今回、年齢・性別・職業などがバラバラのメンバーが集い、一つの大きな催しをつくりあげていくことができました。今までになかった刺激をお互いを感じあい、受けた刺激をどう活かしていくか、刺激とどう関わっていくかを考えていくことが大切になってくるのだと思います。「去年参加したかったけれどもで



きなかった」という声もありました。そういった声をどう拾っていくか、こちらから探していくことができればいいとも感じています。

来てくれた人たちが見て回りやすいようなルートを企画していくのもいいかもしれません。また、企画参加者の「知らなかった」を減らしていけるよう、改善できることはどんどん改善していきたいです。

## 荒木 涼介さん

(天理大学 学生)

終了後、奈良まちづくりセンターの藤野さんにお話をうかがいました。

「それぞれの団体のもつ方針の違いを受け入れつつ、落ち着いて目標に向かう方法を探れたらいいですね」と語ってくれました。昨年度の「全国町並みゼミ」に一区切りつけ、新たなビジョンに向けて継続的に意見交換をしていければと語られています。

新たに多くの若者、学生が参加していることにも触れ、「失敗を恐れてなにもしない事が本当の大失敗！」と力強いエールをいただきました。私も挑戦し、アクションを起こしていきたいです。



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.1

2022年5月12日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)

取材・執筆：東拓実 荒木涼介 田辺七海  
香川万里子 (以上、天理大学 学生)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



第二回の実行委員会、  
いよいよ内容にかかわる議論もスタート!

田中宏一さん

(さんが俵座)

まず「実行委員会」という名前は固すぎると思うんです。この集まりは思いを持って集まっている人たちの集まりでしょ。だから、「プロジェクト」とか、「NPOOO」とかの方がいいんじゃないかなあ、と。

あと、僕はビジネスが大切だと思うんです。それは単にお金儲けが目的じゃなくて、地域のために活動が続けるには、ボランティアだけでは行き詰まるから、内容的にも金銭的にもビジネスが必要になるんです。そこで得た収入は地域のために活かせるから、まちづくりのためにもビジネスを視野に入れていく必要があるんです。

奈良町見知りは名前も企画もいいし、協力者もたくさんいる。だから、いいプロジェクトになると僕は思います。

東拓実さん

(天理大学学生)

田中さんへのインタビューを通じて感じたのは、「お金」の大切さについてです。田中さんのお話の中でも度々登場した「ビジネス」という言葉について、



自分が大学で学んでいる分野からは少し縁遠い話だと考えていました。しかし、そうではありませんでした。地域のために取り組む事業にも予算がありますし、その事業を持続的に展開していくためにもさまざまな条件づくりが必要です。その一つに「お金」があります。それは、まちづくりにおいても同じです。資金を安定的に確保していくための工夫や仕組みを考える重要性を、田中さんのインタビューを通じて学ぶことができました。これからも「ビジネス」という視点に関心を寄せながら、奈良町見知りの活動に取り組みしていきたいと思えます。

荒木涼介さん

(天理大学学生)

実行委員会終了後、春日山不空院の三谷さんにインタビューさせていただきました。

まず、今回の実行委員会は「話が楽しく、かつ内容もまとまった」と語られました。昨年と比べて新しいメンバーや学生が入って年齢層が広がりましたが、垣根なく意見を交わしながら会議が進行しているという印象をお持ちでした。

また、三谷さんにとっては二年目となる今年の奈良町見知りですが、「ひっぱらうとしていた」という昨年のご自身のかかわりを振り返りつつ、その経験を活かして今年も「いけそうだ」と手応えを感じられているようです。「お祭りの中でも企画の可能性を探ってみたい」といったアイデアもお持ちでした。

さて、三谷さんの活動拠点である高畑エリア。その魅力を一言で表現すると、「都会の中の田舎」だということです。近鉄奈良駅から少し足を伸ばすだけで、都会らしい町並みから自然豊かな景色までを楽しめる。野生動物も「ハクビシンはじめ、なんでも出る」とのこと。また、少し土地が高いところにあり、冬になると雪が降る日もあるそうです。駅に向かって一つ信号を降りたら、雪がもう降っていないといったことも。都会の中の



田舎、自然や季節の移ろい、人の温かさが魅力の高畑エリアを訪れてみたいですね。

萩原敏明さん

(NPO KYOBATE)

みんな自分のまちが好きなので、四つのエリアの「ちょっといいところ」は実行委員の皆さんそれぞれでよくご存じのはずです。しかし、それを秘密にしておくんじゃなくて、「地域の宝」として発信するのが奈良町見知りのいいところだなと思います。この会議に来てくださったっている地域の方々それぞれが素敵やなと思います。そんな方が好きなことだったり、それぞれの素敵な人柄だったり、それを超えるような広報や発信をしないかな、とあらためて思っていますね。こうやって種をまくよう



## 田辺 七海さん

(天理大学 学生)

奈良町見知ルの実行委員の皆さんは、萩原さんもおっしゃるように素敵な方ばかりで、奈良町のことをこよなく愛されているのが伝わってきます。その素敵な人たちが集まって、さらに地元の方々とつながってその輪を広げて、奈良町見知ルという一つの大きな目的に向かっていくプロセスは、私たち学生にとっても大きな刺激になります。奈良町が元気になっていく姿をこの実行委員会の話し合いにみる

にスタートして、最後には奈良町見知ルという大きな花が咲いたらいいなと思っています。だから、そのためにも学生さんにもっと意見が聞ければいいなと思います。その意見が良くて悪くても、そこから一つのなにかが立ち上がってくることもありますからね。

## 荒木 涼介さん

(天理大学 学生)

五月下旬、役員会に出席されたの川頭 史空さん(学生団体「あそぶなら」)に話をうかがいました。

この日が二回目となる役員会では、奈良町見知ル全体の進捗や今後の見通しが確認されました。学生団体「あそぶなら」として、企画提案日となる六月一日に向けて頑張りたいと意気込まれていました。

今の心境は「やっととはじまった!」とのことでした。本格始動した実行委員会の場で、学生団体としてのイベントの企画を提案していくということを具体的にイメージされているように感じました。特に若い世代を奈良町見知ルにつなげられるような提案に力を入れていきたいということでした。

同じ学生として、私も共感する話でした。奈良町見知ルは、若者が奈良町の魅力に触れることのできる機会にもなります。さらにさまざまな世代が出会い、つながっていくような動きを広げていけたらと思います。



## 夜の奈良町にぎわい課事務所にて、奈良町見知ルの役員会も動いています!

実行委員会の体制もかたまり、五月下旬より役員会も始動しました。とっても和やかなムードの中、今日も会議が始まります。役員ではなくとも、実行委員のどなたでも参加大歓迎です!



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.2

2022年6月9日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)  
取材・執筆：東 拓実 荒木 涼介 田辺 七海  
(以上、天理大学 学生)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



さらなる充実を目指して、  
今年度のイベントの検討が進んでいます！

倉橋 みどりさん

(実行委員長  
・きたまちコンセンスト)

いよいよ全体スケジュールの見通しが立って、事業のイメージがくっきりしてきました。

第三回の実行委員会はいつもとより出席者が少なかったですが、その分ぎっくばらんに意見交換ができました。かつちりとしながらも、互いに意見を出しやすいのがこの実行委員会の良いところですよ。

今回はあそぶならの学生さんが若い発想力を発揮して、たくさんアイデアを提案してくれました。議論の中では世代間のギャップが生じることもありますが、しかし、今回学生の皆さんが提案に込めてくれた思いは、実行委員会の場で共有されたように思います。世代を問わず



ず学生の皆さんも発言しやすい、寄合のような実行委員会を目指していきたいですね。

野村 修司さん

(にやらまち猫祭り実行委員会)

私はふだん、スマホなど一切使っていない分、実際に活動している人の生の声を聞くことを大切にしてきました。奈良町見知りに来られる方も、ぜひ奈良町の空気感や風を直接感じてもらいたいですね。

奈良町はお店も沢山あるんですが、それに加えて素敵なものやひと、魅力で溢れています。宝探しをするように町を歩いてみたら、思いがけない発見に出会えるかもしれません。人それぞれ、自分にしか見つけられない



い発見を探すように、奈良町を歩いて楽しんでもらいたいです。

松岡 みきさん

(奈良近代洋風建築研究会)

今年度の奈良町見知りでは、きたまちの建築の価値にもっと触れてもらうために、奈良近代洋風建築研究会としてツアー企画を提案しました。奈良には古民家が多く残っていますが、それだけではありません。ぜひ、奈良の近代建築の魅力について多くのの人に知ってもらいたいです。

奈良近代洋風建築研究会は、二〇二〇年からツイッターでゆるっと発信活動を続けているのですが、コロナ禍の影響で活発に活動することができていませんでした。奈良町見知りをきっかけに近代建築の魅力をより多くの人に広めていきたいです。



奈良町見知り実行委員会 Newsletter No.3

2022年7月14日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)

取材・執筆：東 拓実

田辺 七海 (以上、天理大学 学生)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp







2022年7月14日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter No.4

## 企画参加者向け説明会・交流会 2022年6月22日(水)

### 奈良町の企画参加者の皆様を対象とした 説明会・交流会が開催されました！

東拓実さん

(天理大学学生)

六月二十二日(水)の晩、奈良町にぎわいの家にて「奈良町見知り説明会・交流会」が開催されました。この日は、特別公開スポットや特別イベントの企画参加者の皆様を対象に、今年度の事業概要に関する説明と役員や実行委員を交えた交流が行われました。

説明会は、実行委員長の倉橋みどりさんの挨拶で始まり、「昨年度『全国町並みゼミ奈良大会』の一部として開催された奈良町見知りですが、今年度より実行委員会形式での運営に仕切り直して継続していくことになりました。初めての開催となった昨年度の反省点も十分に踏まえ、今年度は企画者の皆さんにより主体的に取り組んでいただけるように、そして、この事業にかかわる関係者同士のつながりを大切にして『参加してよかった!』という達成感や充実感を共有できるような取り組みにしていきたい。」と倉橋さんの思いが語られました。

続いて、配布資料をもとに実行委員会から事業概要が説明されたので、この紙面でもダイジェストでお届けします。



\* \* \*

この事業は、多くの人が奈良町の「ちょっぴりいいところ」を知り、地域に足を運ぶきっかけを作ること、また、そこに暮らす人たちが「まちの魅力」を再発見する機会となること、さらに各エリア(きたまち、ならまち、高畑、京終・紀寺)相互に「まちの個性」を理解し合うこと、奈良町全体の魅力発信につながっていくことを目指しています。

今年の開催期間は、十一月六日(日)から十三日(日)までの八日間です。

ここで四点、説明が補足されました。第一に、開催期間中は毎日企画を実施する必要はありません。

第二に、企画参加にあたって、参加料や広告料等は一切発生しません。来場者から入館料、見学料、イベント参加料を徴収することは可能ですし、その際は企画参加者が全額収受いたします。

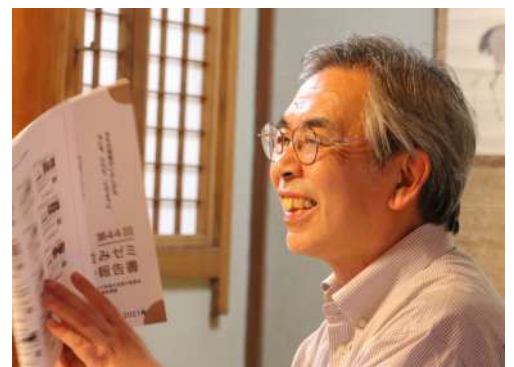
第三に、企画内容は、企画参加者自身でご検討いただきます。それを実行委員会できりまじめ、機動的・効果的に広報するという協力体制をとります。共催の奈良市も、広報を全面的にパツ



クアツプしてくれまツ。

第四に、昨年できなかったことですが、今年度は企画参加者同士、また企画参加者と実行委員会のコミュニケーションや一体感をより一層大切にしていきたいと思ひまツ。相談や提案など、気軽に実行委員会にお寄せください。人手が足りないことも見込まれまツので、今年度は実行委員会でもボランティアの募集も計画してまツ。必要人員が十分に確保できない場合もあまツが、まづはご相談ください。

今年も、特別公開と特別イベントの二つの形態を予定してまツ。特別公開は、皆様が所有されている施設等を広く公開していただくものです(開放日時を設定可、原則として事前予約なし)。特別イベントは、今年度より実行委員会主催のものとは分けてまツ。今日お越しの企画参加





者の皆様には、特別公開が特別イベントのいずれか、また両方で企画内容をご検討いただければと思います。

「企画参加申込書」に沿って企画内容を記入していただき、七月十一日(月)までに奈良町見知り実行委員会までメールでお送りください。この申込書の記入内容がパンフレットの掲載内容になっていきます。また、来場者の心をくすぐるような写真やワード、来場者が楽しめる見どころを積極的に散りばめて申込書を作成してみてください。申込書のやりとりの中で実行委員会からアイデアや提案、調整を随時お返しいきます。

広報のスケジュールとしては、七月十一日(月)までに提出された申込書をとりとめ、八月にかけてパンフレットの作成を進めます。できるだけ早く広報が開始できるよう、ご協力をよろしくお願いたします。

\* \* \*

説明会に続いて行われた交流会は、全体で参加者の自己紹介から始まりました。その後、私たち天理大学生涯教育専攻の学生がバトンを引き継ぎ、交流会に先立つアイスブレイクとして紙風船を使ったミニゲームを楽しみました。シンプルなルールでグループ対抗戦を行いました。が、続く交流の雰囲気づくりの一助になっていた幸いです。さて、いよいよグループに分かれての交流です。それぞれの

グループで、疑問点を共有したり、企画内容について情報の共有や意見交換をしたりといったように、真剣かつ楽しい雰囲気の中で交流が進んでいきました。

特に、同じエリアの中で開催日を揃えるなど、お客様が周遊して楽しめるような参加施設同士の連携を期待する声が多く、予定時刻を過ぎても交流は続きました。最後は、笑顔で会場後にされていく皆様の様子を目にするのができました。

今年度の奈良町見知りでは、企画参加者の皆様と実行委員会が一体となった盛り上がりが見られます。微力ですが、私たちも少しでもお役に立てるようになりますので、今後どうぞよろしくお願いたします。



## 奈良町見知り実行委員会 Newsletter No.4

2022年7月14日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)  
取材・執筆：東 拓実 (天理大学 学生)  
写真撮影：田辺 七海 (天理大学 学生)  
連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



いよいよ今年度のイベントも出揃い、  
開催に向けて準備は次のステージへ！

瀬渡 比呂志さん

(旧鍋屋交番と)

奈良きたまちを考える会)

今日の実行委員会、中身の準備がだいぶ進んできたという感触を得ました。奈良町「天」の合同企画「井写して見知り！みんなで作ろうフォトマップ」の説明が学生団体「あそぶなら」からありましたが、このような新しい提案がどのように展開されていくか、今後が楽しみです。新型コロナウイルス感染症の影響が長引く中、事業運営にもこれまでと違った工夫が求められているのは間違いないと思います。同時に、その工夫がもしもいろいろな可能性をひらいてくれる



とも期待しています。「あそぶなら」の学生さんが説明していたインスタグラムの活用は、これまで当たり前だった対面形式の交流とどのように組み合わせることができるものなのか、注目しています。奈良町見知りの期間中、私たちが九月に開催する「奈良きたまちスケッチ&フォト大会」の作品を旧鍋屋交番内で展示します。その作品をそのインスタグラム企画でもとりあげてもらうことになりました。

ただし、対面でのリアルな出会いと交流の中でしか得られない良さもあります。両者の「組み合わせ」が大切なかもしれません。

この実行委員会、学生さんのような若い世代の参加が多く、いいバランスになってきたと感じています。その活躍に期待を寄せつつ、長い見通しに立ってみると卒業や就職をきっかけに学生メンバーの入れかわりも生じてきます。学生の皆さんの継続的な参加を可能にするためには、どうしていくのがよいのか。これからの課題になってきます。世代をこえてお互いの良さを重ね合わせながら、ゆるやかなつながりを広げていくことが大切なのだと思います。



勝野 一さん

(奈良まちづくりセンター)

今年度の奈良町見知ルの企画がそろってきました。関係者の間では、特別公開や特別イベントの開催日程の調整も進められています。これから様々な情報が入りますが、たくさん集まってきましたが、どの情報を誰につなげていけばいいか、その線も見えてきました。奈良町は、長い時間をかけてそのようなつながりを育んできました。この奈良町見知ルを通じてそのようなつながりが一層深まり、広がっていくといいと思います。

また、特別公開・イベントの企画、目のつけどころも大変おもしろいと感じています。それをこの実行委員会全体で応援していきたいと思えますし、それぞれのエリアを熟知したキーパーソンが力を発揮することも大事になってくると思います。



さて、「奈良町のちょっとしたいいところを見て知る秋の一週間」ということで、いつもとはちょっと違った奈良町の魅力に触れることができそうです。既に奈良町のことを知っている人にとってもふだんとは違う奈良町の一面を楽しんでもらえるように、この「奈良町見知ルならではのアプローチ」が求められます。それをつくっていきけるかどうか、これからの事前準備にかかっています。しっかりと自分たちでまちを歩いてまわり、人に会い、案内してもらったり、話を聞いたりするといった準備も大切です。関係者の間で交わすコミュニケーションも大事です。そこで得られた情報を実行委員会でも共有し、計画を洗練させていくことができると思います。

## 01 オープニングトーク「まちのちょっとしたいいところの見つけ方」

11/6 (Sun) 19:00 ▶ 20:30 奈良町にぎわいの家 (オンライン配信有)  
定員：30人 (奈良町見知ル公式HPより事前申込制)  
参加料：大人1,000円 学生500円

奈良町らしい「ちょっとしたいいところ」、を見つける楽しさや意義を語ってまいります。  
ゲストスピーカー：内田 忠賢さん (奈良女子大学教授/人文地理学・民俗学)  
聞き手：倉橋 みどりさん (奈良町見知ル実行委員会委員長、奈良市観光大使)

## 02 #写して見知ル！みんなでつくろう奈良町フォトマップ

11/13 (Sun) 10:00 ▶ 16:00 インフォメーションブース/奈良町物語館  
当日、会場に来場のうえ投稿していただくと、先着50名に粗品をプレゼント！！

奈良町見知ル期間中に、奈良町の魅力が伝わる写真のハッシュタグ投稿（#写して見知ル）を募集！集まった写真で奈良町フォトマップと一緒に作りましょう！

【企画：奈良町Likeプロジェクト&学生団体「あそびなら」】



特別イベントをちよつとだけ紹介！  
【実行委員会企画編】



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.5

2022年8月18日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)

写真撮影：田辺 七海 (天理大学 学生)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





2022年10月14日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter No. 6

## 第6回実行委員会 2022年9月8日(木)

### 今年の奈良町見知ルの全貌が明らかに！ 各イベントの参加申し込みもスタート！

秋の訪れを感じる心地よい虫の音をBGMに、奈良町からくりおもちゃ館にて第六回実行委員会が開催されました。今号ではその内容をレポートします。

\*\*\*

#### ① プレスリリース

・情報発信について

いよいよ今年度の奈良町見知ルの情報が一般公開される日がせまってきました。まずは九月二十二日(金)にホームページ上で情報が公開され、次いで十月三日(月)には奈良市役所にて記者クラブに対するプレスリリースとなります。

公開されたイベントカレンダーを見ながら、奈良町散策の計画を考えるだけで期待がふくらんできますね。特別イベントは少人数予約制となります。お申し込みはお早めに！

#### ② オープニングトーク

イベントについて

また、この日は「奈良町見知り！オープニングトーク」『まちのちょっといいところの見つけ方』も検討されました。これは奈良町見知ルの趣旨を広く知ってもらうことを目的としたオープニングイベントで、十一月六



日の午後七時より奈良町にぎわいの家にて開催されます(オンライン配信有)。奈良女子大学の内田忠賢教授をゲストにお迎えし、倉橋みどり実行委員長が聞き手となって、「奈良町らしい「ちょっといいところ」を見つける楽しさや意義にせまるトークセッション」です。申込は十月二十八日(金)午後一時まで、詳細は奈良町見知りホームページをご覧ください。お楽しみに！

#### ③ ボランティア募集について

現在、奈良町見知ルの応援団、ボランティアスタッフも募集しています。開催期間中は、イベント会場での受付、誘導、案内、

雑談などのお客様のおもてなし、インフォメーションブースでのお手伝いを担います。続々と応募が寄せられている報告に心も躍ります。

ボランティアスタッフの皆さんを対象とした事前説明会が十月二十二日(土)午後開催されます。実行委員一同、申し込まれた皆さんにお会いできるのが今からとても楽しみです！

#### ④ ガイド講習会について

奈良町見知ルの開催期間中、天理大学の学生がガイドとなって奈良町を案内するイベントが準備されています。これは、奈良市西部公民館主催の「せいぶ大人の学舎」という連続講座の館外学習として開催されますが、ガイドの依頼を実行委員会として受け、天理大学の学生の準備



をバックアップしていくことになりました。今回は「ならまちコース」と「きたまちコース」を設定し、特別公開のスポットをメインにルートを設定しました。十月一日(土)・八日(土)には事前研修も実施し、実地の準備も万端です。一般参加の受付はしていませんが、当日の様子は本誌でレポートしたいと思います。





⑤ 学生団体「あそぶなら」企画  
 「まちのプレイヤールの興味と奈良町の魅力が結びつくきっかけを作る」をコンセプトに活動している学生団体「あそぶなら」の皆さんが企画する楽しいイベントの準備も進められています。  
 今年の奈良町見知ルの魅力と見どころをたっぷり発信するあそぶなら独自企画「見知ルトーク！」はインスタライブで配信。十月二十五日(土)、十一月五日(土)の晩、二十時三十分から二時間のプログラムになります。聴きたい方はインスタグラムで「あそぶなら」(asobu.nara)をフォローしてチェックです！  
 また、特別公開では、来場者が気軽に感想を書き残せるメッセージボードが用意されている会場もあります。「綴って見知ル」と題した企画で、来場者と特別

公開の関係者、または来場者同士のちよっとした交流を図ることを目的にしたものです。ぜひ、メッセージの交流をお楽しみください。  
 さらに、奈良町見知ルを楽しむフォト企画として「#写して見知ル！みんなできつこうフォトマップ」の準備も進んでいます。開催期間中、奈良町の魅力が伝わる写真のハッシュタグ投稿を大募集です(＃写して見知ル)。投稿された写真を組み合わせ、奈良町フォトマップを一緒に作りましょう！こちらの企画は、奈良町Likeプロジェクトと学生団体「あそぶなら」の共同企画です。



### 03 ならまち町名由来板 de フォトラリー

11/6 ~ 13  
 (Sun) (Sun)

10:00 ▶ 16:00 奈良町物語館 インフォメーションブース

5ヶ所コンプリートすると、各日先着50人にオリジナルポストカードをプレゼントします！

ならまちエリアに点在する町名由来看板を読んで、関連スポットを探して撮影しよう。奈良町見知ルのインフォメーションブースで用紙を買って、まち歩きをしながら楽しくチャレンジしてくださいね！  
 【企画：奈良町座】



特別イベントをちよっとだけ紹介！  
 【実行委員会企画・特別イベント編】

### 04 ならまち中将姫ゆかりの寺院をたどるノ徳融寺・誕生寺

11/7・8  
 (Mon) (Tue)

13:00 ▶ 15:00 「奈良町南観光案内所」前に集合

参加申込：希望の日時、申込者・同行者氏名、電話番号を明記の上、NPO法人文化創造アルカまでメールをお送りください (arcainfo@arca-nara.jp)。

奈良時代の伝説の女性、中将姫。父・藤原豊成公の屋敷跡に建つ誕生寺、徳融寺を拝観し、法話をお楽しみいただきます。参加費2,500円(拝観料込み)、定員10名。



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.6

2022年10月14日発行

編集責任者：杉山 晋平 (天理大学)

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





2022年10月22日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter No. 7

## 第7回実行委員会 2022年10月14日(金)

いよいよ開催まで残り一ヶ月！  
各所の準備も山場を迎えています！

さあ、あつという間に今年の奈良町見知りも開催期間まであと一ヶ月となりました。今号では、開催前は最後となる実行委員会、そして、役員が中心となって進めているコアメンバー会議の様子をレポートします。

\*\*\*

### ① 事業の広報及びイベントの予約状況について

今年の奈良町見知り、まずは九月二十二日(金)にホームページ上で情報が公開され、次いで十月三日(月)に奈良市役所にて記者クラブに対するプレスリリースが行われました。報道機関五社の参加があり、倉橋実行委員長がイベントの内容や魅力、関係者の意気込みを話しました。この記者レクの場には学生も一名参加し、実行委員の世代の厚さもアピールすることができました。

また、九月下旬より奈良市内の公共施設やJR浴線など各所にチラシも配置されました。早くも追加の設置リクエストも寄せられています。皆さん、今年のチラシを見かけた際には、ぜひ手にとってください。さらに、現在奈良市が設置を拡充しているデジタルサイネージを活用し



た広報も展開されています。中でも奈良町見知りの広報が一番かわいらしく、一番目立っています！近鉄をご利用の皆様、駅のデジタルサイネージをお見かけの際は要チェックです！

さて、特別イベントの予約期間もスタートしています。早くも枠が埋まり始めているようです。今年も魅力的なイベントが並んでいます。どうぞ奈良町見知りのホームページをご覧ください。予約はお早めに！

### ② オープニングトーク

イベントの続報

今年の新しい試みとして、開催期間の初日にあたる十一月六

日の晩、「奈良町見知り！オープニングトーク『まちのちよっ」といいところの見つけ方』が開催されます。奈良女子大学の内田忠賢教授をゲストにお迎えし、倉橋みどり実行委員長が聞き手となって、「奈良町らしいちよっ」といいところ」を見つけ楽しむという奈良町見知りの魅力にせまるトークセッション。ライトアップされた庭を背景に、奈良町にぎわいの家にて開催されます。当日は、オンライン配信もあります。申込は十月二十八日(金)午後一時まで、詳細は奈良町見知りホームページをご覧ください。

### ③ ボランティア説明会について

現在募集中の奈良町見知りの応援団、ボランティアスタッフ。続々と申込が届いているようです。ボランティアスタッフの皆さんを対象とした事前説明会が



十月二十二日の午後に開催されます。新しい仲間をお迎えできるとあって、実行委員一同、ドキドキです！

ボランティアスタッフの皆さんは、奈良町物語館に設置するインフォメーションブースの運営をはじめ、特別公開スポットや特別イベントにわたってサポーターとして活躍していただく予定です。

説明会では、奈良町見知りの概要や今後のスケジュールを共有しつつ、互いの自己紹介を交えながら交流を楽しむ時間もたっぷりあります。説明会の様子は次号の通信で紹介します。





この日の実行委員会では、学生団体「あそぶなら」の企画で

⑤ 学生団体「あそぶなら」企画

さあ、使用物品がそろったら各所への仕分けと配布があります。準備もラストスパートです！

④ 使用物品の準備状況について

開催期間中に使用する物品の準備も着々と進んでいます。フラグの制作も完成まであと少しです。実行委員が互いの知恵と経験を総結集させて、地道な手仕事も加えながら、力を合わせて準備をしています。



ある「綴って見知ル」のメッセージボードの試作品も紹介されました。奈良町のイメージに合わせた手づくりのボード、とってもかわいらしく仕上がっています。実行委員の皆さんからも応援とアドバイスがたくさん寄せられました。

開催期間中は、来場者に気軽に感想を書き残していただけるよう、インフォメーションボードが設置される奈良町物語館の他、特別公開スポット（旧細田家住宅、今西家書院、璉城寺）にボードが設置されます。どんなメッセージの交流が生まれるか、今から楽しみですね。

05 柳生街道 高畑ツアー／今西家書院・藤間家住宅・不空院

11/13 (Sun) 13:00 ▶ 15:00 名勝大乗院庭園文化館に集合  
定員：3～10人（奈良町見知ル公式HPより事前申込制）  
参加料：500円（別途、見学科・拝観料1,400円が必要です）

奈良町見知ルに参加する3スポット、今西家書院、藤間家住宅、春日山不空院を巡りながら、柳生街道を歩く特別ツアーです。案内役は、郷土史家の津田慎一さんです。予約申込は【11月10日 17:00】まで、お早めに！

06 コミュニティ駅長さんの京終駅舎歴史さんぽ／京終駅舎

11/6～8 (Sun) (Tue) 13:30 ▶ 14:30 JR京終駅者待合に集合  
定員：10人（奈良市HPより事前申込制）  
当日はお土産もあります お楽しみに！

京終駅のコミュニティ駅長である丸山清文さんが、JR京終駅舎の今と昔をご案内！京終駅の歴史からどのような風景が垣間見えてくるか、楽しみです。今回のイベントに合わせて公開される、往時をしのばせる貴重なお室は必見です！



特別イベントをちよつとだけ紹介！  
【特別イベント編】



奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.7

2022年10月22日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





# 奈良町見知り実行委員会 Newsletter No. 8

## ボランティア説明会 2022年10月22日(木)

ボランティアスタッフの皆さんが加入！  
情報共有と楽しい交流の説明会開催！

荒木 涼介さん  
(天理大学学生)

十月二十二日、爽やかな秋晴れとなった土曜日の午後、ボランティアスタッフの事前説明会が開催されました。四名のボランティアスタッフがの出席を得て、奈良町見知ルの情報共有と実行委員も交えた楽しい交流が行われました。今号では、この説明会の様子をお届けします。

### アイスブレイク & 自己紹介

まずは、杉山先生の進行によるアイスブレイクから始まりました。ボランティアスタッフと実行委員が混ざった二つのグループに分かれ、初めに楽しんで



だのはペーパータワーです。グループ対抗戦で、五十枚の紙を自由に用いて制限時間内にタワーを積み上げ、その高さを競います。初対面で互いの名前も知らないままであっても、両グループの競争は大盛り上がり。会場は一気に和やかな雰囲気になりました。

続いては、自己紹介。一人ひとりに小さなホワイトボードが渡され、全体に示されたお題に沿って各自がフリップを用意し、それを用いて順番に自己紹介です。

ボランティアに申し込んだ経緯では、皆さん揃って「奈良の

ことが好き」、「奈良のいいところをもっと知りたい」と語ってくださいました。奈良町見知ルのボランティアについては、インターネット検索やSNSで見つけた方もいらっしゃいました。皆さん、やっぱり奈良のことをよく検索されるんですね。グループでの交流時にも、スマートフォンで検索しながら奈良町の美味しい店の話題で盛り上がる場面もありました。

ここで一息、休憩です。この時間を利用して、奈良町見知ルのオリジナル缶バッジの制作体験も楽しみました。この缶バッジは今年初めての試みですが、自分の手で作ってみるといのがまたおもしろさを倍増させます。開催期間中のボランティア活動でも付けていただけるよう、缶バッジはそのままお土産としてプレゼントです。

### 奈良町見知ルの事業概要とボランティアの活動内容

休憩が明けて、今度は倉橋実行委員長より奈良町見知ルの事業概要とボランティアスタッフの活動内容の説明に移りました。配布資料のパンフレットに沿って、漢字表記の「奈良町」、

その中にある四エリアのこと、奈良町見知ルが産声をあげた経緯、「まちのちょっといいところ」というコンセプト、そして、今年度の特別公開スポットや特別イベントについて説明がありました。実行委員である私自身

も話に聞き入っておりましたが、ふと顔を上げて周りをみるとボランティアスタッフの皆さんも興味津々の様子です。

ボランティアの活動内容については、「一人ぼっちで活動をするにはありませんよ」と、企画参加者、実行委員、ボランティアスタッフが力を合わせて活動していくことがこの事業で大切にしていることとして共有され





ました。ボランティアスタッフの皆さんも安心してシフトの調整にとりかかっておられました。笑顔の絶えない和やかな説明会もあつという間に二時間近く経って、もう終盤です。今後の予定を確認し、最後はすっきり打ち解けて記念写真を撮影し、この日は解散となりました。

**説明会を振り返って**

今回の説明会を振り返って、二点ほど感想を記したいと思います。

まず、ボランティアスタッフの皆さんの姿勢に感銘を受けました。皆さん、奈良のことが大好きで、この説明会から期待をふくらませて参加してくださっていました。私たち実行委員ともすぐに打ち解けて、奈良のこと、互いのことを話す中で、今

回の機会に對する思いや期待を共有することができました。また、個人的には自分と同じ学生世代の参加があったこともうれしかったです。

そして、会場の温かい雰囲気です。こんなに楽しく、温かい説明会にすることができたのは、人と人、人とまちのつながりを大切にできた奈良町見知ルならではのコンセプトによるものだったと思います。そのつながりは、閉じることなく、常にひらかれていくような可能性を今回の説明会からも感じました。

奈良のことが好きという共通点で集まった私たちが、奈良のちよつといいところをみんなでお見知り。新しいメンバーをお迎えして、いよいよ本番です。



07

### 春日山不空院境内特別ガイド／不空院

11/12  
(Sat)

13:00 ▶ 14:30 不空院拝観受付に集合  
定員：3～10人（奈良町見知ル公式HPより事前申込制）  
参加料：300円（別途、見学科・拝観料1,000円が必要です）

例年の正倉院特別拝観（本堂・鎮守堂）に加え、服十色の境内特別案内をお楽しみください。日頃は入れない護摩堂に入堂いただけます。予約申込は【11月7日 17:00】まで、お早めに！

08

### レンガ造りの蔵＜醤油蔵＞醤油の製造現場特別ガイド／イゲタ醤油（株）井上本店

11/11  
(Fri)

10:30 ▶ 11:30 10:20に（株）井上本店に集合  
定員：15人（奈良町見知ル公式HPより事前申込制）  
参加料：500円（お土産付き）

大正終わりのレンガ造りの蔵でつくられる醤油。6代目の吉川さんのガイドで、醤油づくりの工程を順に案内します。観る、香る、味わうなど、五感で学ぶガイドです。定員が埋まり次第、予約受付は終了します。ご予約はお早めに！



特別イベントをちよつとだけ紹介！  
【特別イベント編】



### 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.8

2022年11月6日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

取材・執筆：荒木 涼介（天理大学 学生）

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp





2022年12月8日発行

# 奈良町見知り実行委員会

# Newsletter No.9

## お疲れ様会（振り返り） 2022年11月30日（水）

企画参加者、ボランティア、実行委員が一堂に介して、振り返りの会を開催しました！

奈良町見知ルが終わり、朝夕の寒さが身にしみ始めた十一月末、夜の奈良町にぎわいの家に企画参加者、ボランティアスタッフ、実行委員が集まり、今年の奈良町見知ルを振り返るお疲れ様会を開催しました。今号ではその内容をレポートします。

\*\*\*

お疲れ様会は、前半に倉橋実行委員長より挨拶と報告、それを踏まえて後半はグループに分かれての振り返りという二部構成で行われました。

まず、倉橋実行委員長から、昨年の全国町並みゼミ奈良大会の一企画として産声をあげた奈良町見知ルを今年から単独の実行委員会で開催できたこと、そして、大きな事故なく無事に開催期間を終えることができたことへの感謝の気持ちが語られました。

続いて、今年は、昨年の倍近くの参加者・来場者が得られたことが報告されました。特別イベント参加者へのアンケートや一部の特別公開スポットに設置された「綴って見知ル」の内容から、多くの参加者・来場者の皆様が満足してくださっていたことがわかりました（本報告書第3部参照）。



また、今年度初めての試みとその成果についても報告されました。

まず、開催初日の「オープニングトーク」です。奈良町らしい「ちょっといいところ」をテーマとして、奈良町見知ルの意義や魅力を探り、参加者の皆様と共有することができました。

十一の特別公開、十一の特別イベントに加え、実行委員会企画として「ならまち町名由来板」の「フォトラリー」（企画：奈良町座）、「#写して見知ル！みんなでつくるう奈良町フォトマップ」（企画：奈良町「2nd」プロジェクト）&学生団体「あそぶなら」も行いました。

さらに、奈良町物語館にスタッ





フ常駐の「インフォメーションブース」を設置し、多くの参加者・来場者にご利用いただきました。やはり直接のコミュニケーションを通じて奈良町見知ルをご案内することが、参加者・来場者の皆様の満足につながっていくという手応えも得られました。

天理大学杉山研究室の協力もあり、開催までのプロセスや期間中の様子を「ニュースレター」や「フォトブック」等で関係者で共有し、記録として残すこともできました。学生視点を生かすため、学生団体「あそぶなら」に役員に加わってもらったこと、ボランティアスタッフを募集し、実際に四人の方に活動していただいたこと、参加者対象のアンケート実施、すべて今年度初の取り組みでした。

開催期間中の前後には、「企画参加者対象説明会・交流会」「ボランティア説明会」「企画参加者・ボランティアスタッフ対象お疲れ様会」も開催しました。この奈良町見知ルにかかわる私たち自身が「まちの魅力」を再発見し、この奈良町を構成する各エリアが相互に「まちの個性」を理解し合い、そして、そのような仲間やつながりを広げていくことを目指して、交流を図る機会とすることができました。

以上の倉橋実行委員長からの報告を受け、後半では企画参加者、ボランティア、実行委員が5つのグループに分かれ、交流を深めながら、今年の奈良町見



知ルを振り返りました。

各グループでは、それぞれの特別公開スポットや特別イベントの様子が紹介され、その中で感じたことや考えたこと、今年度の成果と今後の課題、可能性が語り合われました。

最後に、今回の振り返りの感想やこれからの展望を語るリレートークも行いました。

この日のお疲れ様会を通じて、奈良町の「ちよっといいところ」が私たちを出会わせ、互いが結ばれ、さらにゆるやかで強いネットワークになっていくことを直感しました。そのようなつながりを大切にしながら、この奈良町見知ルを長く続け、地域に根づく愛されるイベントにしたいらと思えます。



## 奈良町見知ル実行委員会 Newsletter No.9

2022年12月8日発行

編集責任者：杉山 晋平（天理大学）

写真撮影：木村 愛美（天理大学 学生）  
杉山 晋平

連絡先：shimpei@sta.tenri-u.ac.jp



# 実行委員会等の開催記録

## 実行委員会 定例会

- 第1回 2022年4月14日(木)
- 第2回 2022年5月12日(木)
- 第3回 2022年6月9日(木)
- 第4回 2022年7月14日(木)
- 第5回 2022年8月18日(木)
- 第6回 2022年9月8日(木)
- 第7回 2022年10月14日(金)
- 第8回 2022年12月8日(木)

## 企画参加者向け説明会・交流会

2022年6月22日(水)

## ボランティア説明会

2022年10月22日(木)

## 企画参加者・ボランティアお疲れ様(振り返り)

2022年11月30日(水)



## 奈良町見知ル、オリジナル缶バッジも完成!

今年初めての試みのひとつとして、手作りのオリジナル缶バッジを製作しました。奈良町見知ルのイメージをデザインに活かし、心を込めて1枚ずつ作った缶バッジです。開催期間中、スタッフ証、実行委員会企画(ならまち町名由来板 de フォトラリー、#写して見知ル! 奈良町フォトマップ)の景品、学生ガイドツアーの参加者証など、様々な場面で活用されました。



# 奈良町見知ル2022を終えて

昨年2021年度、「全国町並みゼミin奈良町」の企画のひとつとして誕生した「奈良町見知ル」。「奈良町のちょっといいところを見て知る秋の1週間—きたまち・ならまち・高畑・京終・紀寺—」というサブタイトルがそのまま企画趣旨です。コロナ禍でありながらのべ約2,000人の参加があったことと、このイベントに関わったみなさんから続行を希望する声上がり、今年度から実行委員会を立ち上げ、新「奈良町見知ル」として再スタートをきることになりました。このような経緯もあり、新「奈良町見知ル」の実行委員会のメンバーや企画参加者は昨年と重なる部分が多く、それが今年度の実施を円滑に進める大きな力になりました。

今年2022年度は11月6日（日）～13日（日）、11の特別公開（※）と11の特別企画に加え、当イベントの意義について共有する「オープニングトーク」、「ならまち町名由来板deフォトラリー」（企画・奈良町座）、「#ハッシュタグ写して見知ル！みんなでつくろう奈良町フォトマップ」（企画・奈良町Likeプロジェクト&学生団体「あそぶなら」）、「綴って見知ル」（企画・学生団体「あそぶなら」）を行いました。さらに、期間中、奈良町物語館にスタッフ常駐の「インフォメーションブース」を設けたこと、天理大学杉山ゼミの多大な協力で当イベントのプロセスと期間中の様子が「ニュースリリース」「フォトブック」等で共有と記録ができたこと、学生視点を生かすため、学生団体「あそぶなら」に役員に加わってもらったこと、ボランティアスタッフを募集し、実際に4人の方に活動していただいたこと、参加者対象のアンケート実施はすべて今年度初の取り組みでした。

当イベントの実施の過程で、「企画参加者交流会」「ボランティア説明会」「企画参加者・ボランティアスタッフの振り返り会」を行ったのも今年度からです。いずれも実行委員会メンバーも参加し、エリア内の交流、立場ごとの交流を進めつつ、当イベントにさまざまな立場に関わる人同士の交流を図ることができました。

今年度の参加者は昨年度を上回るのべ3,838人、アンケートによると回答者全員が「大変満足」「やや満足」という高評価をいただきました。当イベントの最大の特長は、参加者に喜んでもらうことはもちろん、実施側である「実行委員会」「ボランティアスタッフ」「企画参加者」が、奈良町という地域の魅力を知り、味わう喜びを感じるイベントとなっていることです。もちろん課題もあります。「めぐる要素の多様化と充実」（ツアー、スタンプラリーなど）、SNSなどを活用し、足を運ばない方々への「情報と感動の共有」等、さらなる進化・深化に努めたいし、当イベントの継続と充実を図るためにも、ある程度の利益を出す努力も不可欠だと考えています。

※佐佐木住宅特別公開については諸事情により、急遽公開を中止した。

奈良町見知ル実行委員会

委員長 倉橋みどり

奈良町見知ル2022が無事に開催を終えました。昨年度、全国町並みゼミ奈良大会を機に始まった事業が一過性のイベントで終わることなく、昨年より充実した内容で2年目を迎えられることは、ひとえに参画くださっている皆様、また、奈良町見知ルにご来場くださった皆様のおかげでございます。改めて感謝申し上げます。

奈良市といたしましては、昨年に引き続き広報と運営支援の役割を担いました。広報面では、東京や関西圏での告知を充実させ、わずかではありますが東京圏からの来訪も確認できたところです。また、この事業は、歴史的風致維持向上計画の事業として位置付けており、観光客への魅力発信だけでなく、地域住民の愛着の醸成、地域のまちづくり団体の連携強化による奈良町ファンの増加を目指しているところでもあります。そして、企画参加者同士の交流、ボランティアスタッフの事業参画など、今年度からの新たな取り組みにより、奈良町見知ルを核とする歴史まちづくりの可能性を実感したところです。

この交流が次年度以降に継続され、大きな流れとなって全体に波及し、奈良町全域が益々発展していくことを祈念申し上げます。

奈良市 観光経済部長

仲西 範嘉

# 第3部

## 参加者の声

## 特別イベント参加者アンケート結果

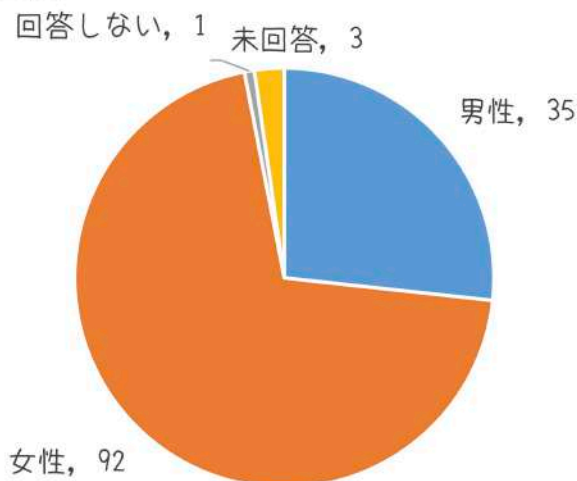
回答者数	131人	回答率 85.6%
配布数 (参加者数)	153人	

回答者数（内訳）

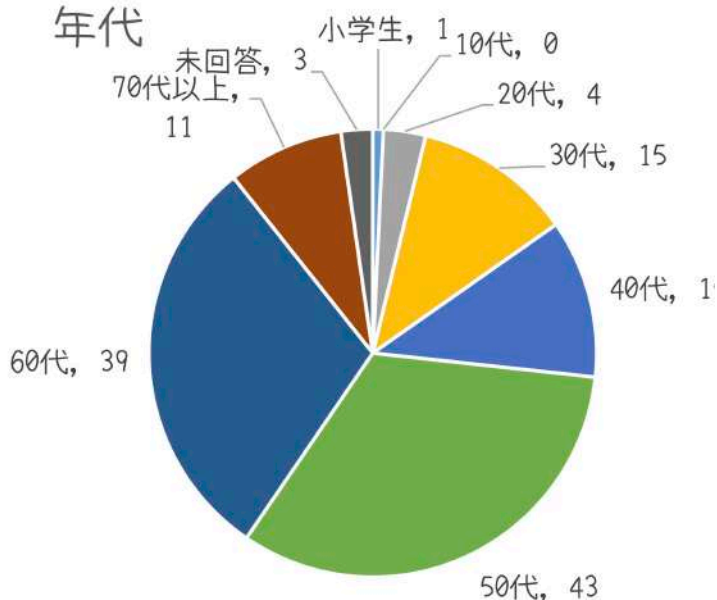
1 まちかど博物館見学ツアー	13人
2 大正時代の〈工場跡〉特別ガイド	26人
3 ならまち中将姫ゆかりの寺院をたどる	8人
4 春日山不空院境内特別ガイド	2人
5 柳生街道高畑ツアー	10人
6 昭和初期の〈奈良町家〉 登録有形文化財の町家で過ごすひととき	36人
7 レンガ造りの〈醤油蔵〉 醤油の製造現場特別ガイド	13人
8 コミュニティ駅長さんの京終駅舎歴史さんぽ	23人

### <基本情報>

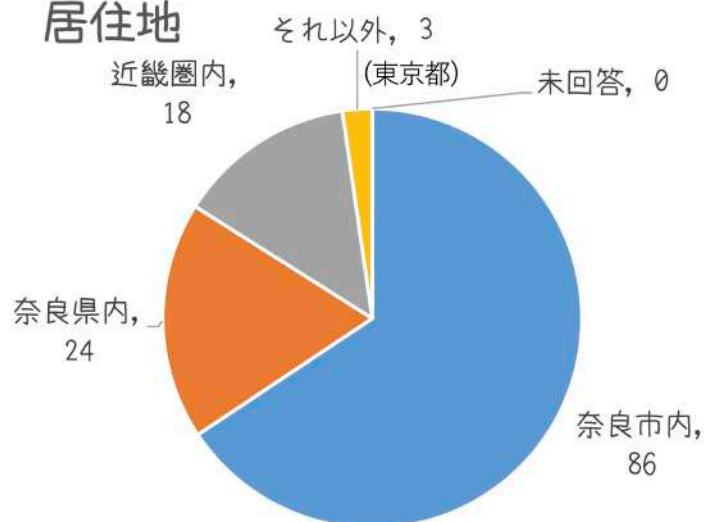
#### 性別



#### 年代



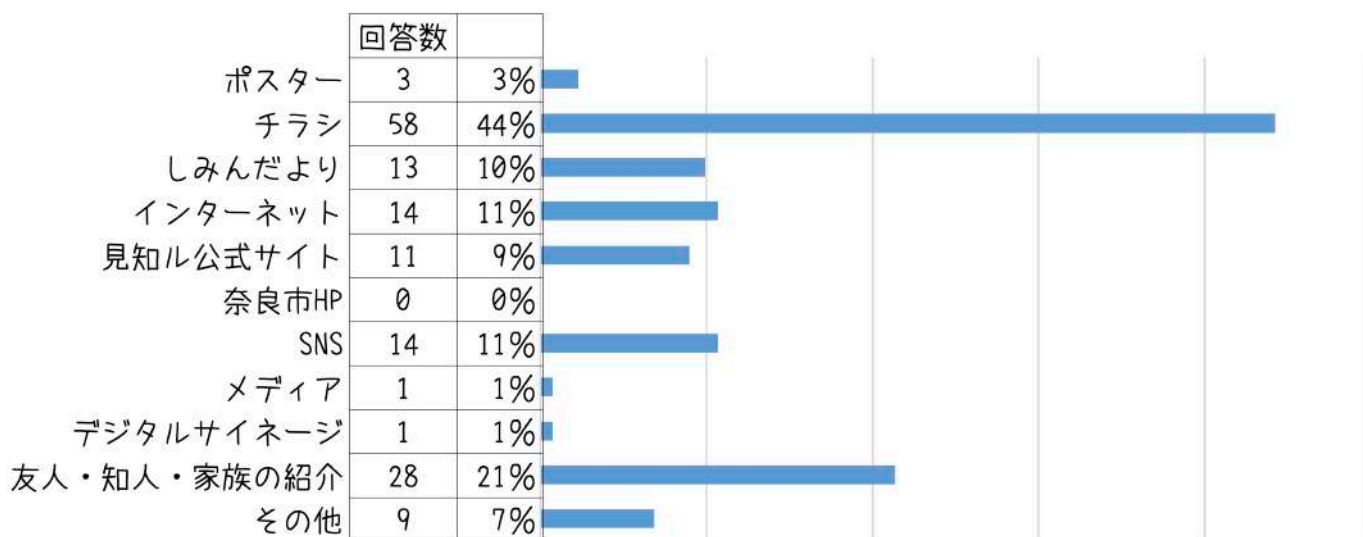
#### 居住地



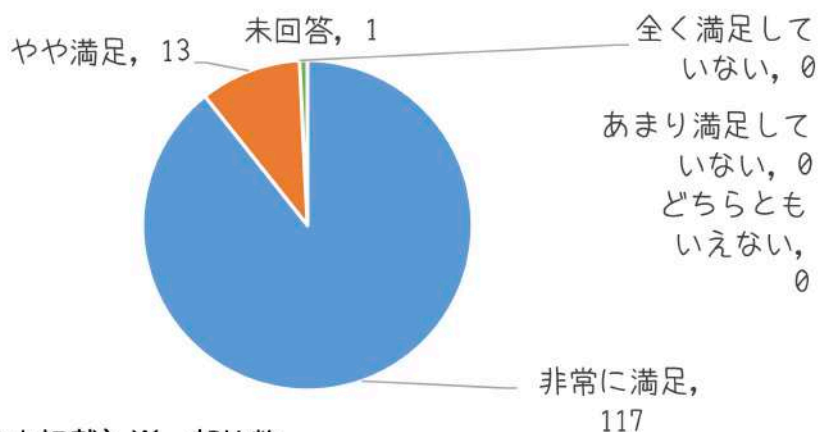


## <設問>

奈良町見知ルを何で知りましたか？(複数回答可)



イベントに参加していかがでしたか？



今後、奈良町見知ルに期待すること(自由記載)※一部抜粋

### <公開先の希望>

- 普段見学しにくかったり、非公開のところ。(3)
- 普段見学できない町家などの公開。(2)
- 古い建物に入る機会、知る機会が増えれば嬉しいです。(2)
- 通常拝観ができないお寺や町家の見学コースをたくさん増やしてください。
- 観光的に有名ではないけれど歴史的に由緒あるお寺や神社その他史跡のツアーを期待します。(2)
- 近所の人にも知らない歴史スポットや建物等の説明ツアー。
- 市井の人々の連綿とした暮らしを体感できること。

### <継続>

- 令和5年度以降も、奈良町の地域資源を見学するツアーを継続していただきたい。(4)
- 令和5年度以降も実施していただきたい。(2)

### <期間・日程>

- 開催期間を長くしてほしい。(3)
- 平日公開がありがたい。

### <改善>

- 各イベントや見学会場別の公開日などがわかりにくいので、もっと一覧などでわかりやすくしていただければと思います。(4)


### <その他>

- 情報が入るようなメールマガジンとかホームページとかあるとうれしいです。
- 古くて価値のある建造物の保存に力を入れていただければ幸いです。
- 子どもも参加できる内容・日時のイベントがあれば参加したいです。
- 参加型のイベントがあれば嬉しい。食とからめたイベントなど。

# 綴って見知ル

2022年11月6日～13日 メッセージ総数 131枚

## インフォメーションブース 13枚

奈良について、たくさん  
知って、充実した  
「奈良町見知ル」期間を  
過ごす!! 

奈良について  
ぐぐぐ知りました。

みえから  
きました。  
楽しい  
みあ

奈良町を  
もっと知って!!



全部の施設  
コンプリート  
したい!  
がんばるぞ〜

奈良町見知ル  
ガイドツアー 無事  
回り終わりました!  
いいお天気よかったです!!

今日はいい天気  
たくさんの人と  
奈良町で  
すれ違い

訪れたら  
新しい発見が  
増えちゃいます!



ゆっくり  
見て回りました!



おさんぽた  
のしいな  


奈良町  
カウチン  
いい牛さん  
すね 

奈良町のこと  
少しでも知れたら  
と思い訪ねました。

普段は見えない  
お寺、奈良町の姿を  
見るとかっこいい。  
とても楽しかったです。

旧細田家住宅 39枚

昔の人の生活を  
 知ることができました。  
 説明資料もあったので  
 よりよかったです。



2021.12  
 晴天に恵み  
 初会館で見ると  
 1はいいや子さ  
 家を見せたい  
 感謝の気持ち

1月  
 2月  
 3月  
 4月  
 5月  
 6月  
 7月  
 8月  
 9月  
 10月  
 11月  
 12月

12月  
 11月  
 10月  
 9月  
 8月  
 7月  
 6月  
 5月  
 4月  
 3月  
 2月  
 1月

11月も前を通る  
 10月も前を通る  
 11月も前を通る  
 10月も前を通る  
 11月も前を通る

大さな仕事  
 大さな仕事  
 大さな仕事  
 大さな仕事  
 大さな仕事

通る道  
 通る道  
 通る道  
 通る道  
 通る道

12月  
 11月  
 10月  
 9月  
 8月  
 7月  
 6月  
 5月  
 4月  
 3月  
 2月  
 1月

すばらしい  
 農家を見せて  
 いたなまは  
 残して

近所に住んで「おつか  
 はじめで中を見つけて感動  
 でした!  
 たくさん説明をしてくだ  
 さい。楽しかったです。  
 ありがとうございます!

奈良に住んで  
 初めて。ここら辺  
 ありきたり。  
 60分 75分... Kyako  
 75分 100分...

大和棟の建物を  
 見ると仲はとどろに  
 使われてるかと思っ  
 ていました。今日拜見  
 してよかったです  
 ありがとうございます

父母 思う  
おじいさん、  
なつかしいなつかしい  
ななし父母 新いた  
幸せな日 思い出  
ました

相 <sup>わかさ</sup> <sup>は</sup> <sup>い</sup> <sup>ま</sup> <sup>し</sup> <sup>た</sup>  
私の子 <sup>あ</sup> <sup>ま</sup> <sup>い</sup> <sup>は</sup> <sup>ら</sup>  
なつかしい 思い出  
ななし父母 新いた  
幸せな日 思い出  
ました

奈良で  
農業、大和棟を  
はじめた見ました  
生活を感じた  
みた

とても興味深かったです。  
素敵なイベントを  
ありがとうございました！

いつも住家の  
前を通り、この  
住家の中がみんな  
りゅうりゅうと  
ななし父母 新いた  
幸せな日 思い出  
ました

今も残る昔の農家の  
暮しの片鱗！  
浪漫！！

昔ながらの  
建物が見れて  
面白かったです！

奈良市よ、  
ふさかえの費用  
ぐらゐ、出さない


蒲原の  
里手に  
いーやうに  
た

なつかしいです  
子供時代にもどった  
みたてです

奈良で茅葺きの家を  
見ると成てきてよめた  
かまとも昔の家の位人  
なたよな会持さん  
なるほど立派では

田舎中の農家  
を見せていただいた  
火中の家の中  
てすや  
すきに便利  
てすね

奈良の所も村も  
お利知らぬ、4人で  
細田宅を見学させ  
て昔の人はずい  
思いました

牛を数件で  
1頭飼っていた事  
に驚きました  
モ、  


2年前に近くに引越し  
しましたか はじめに入りました。  
かまはのこはを食へて  
みたくなたのごとう  
企画はどうでしょう？

2022.11.12

身近であつたものが  
遠く行ってきている中。  
こういう保存を公開して  
頂けるのは嬉しい。

昔の人の生活。  
思い起こせる  
ことがあつた。  
あつたごとうです。

たのしかったよ



教科書では見えない  
ものがたくさん見れて  
楽しかったです!!



初めて来ました。  
奈良の農家のことを  
知ってよかったです。

力強い柱に  
圧倒されました！  
訪れた方この  
フェイスブックの  
が濃かったです



友人に聞かされて  
来ました。  
昔の人の暮らし  
をのぞくことが出来  
良かったです。

外からだけ見  
ては行かないで。昔に  
ソウルとサムソンの  
たみかい！貴重な  
文化です。ね。  
目で見るとは

近くに住んでいるのに  
初めて見学させていた  
まは。お茶屋根の  
旧家。素敵です。  
楽しかったです。

義実家が近所  
通る度にすき気になつて  
いまは  
拝見できてよかったです  
素敵な機会を  
ありがとうございました

ありがとうございます  
ごじいさま  
また来ます!!

農家がをのぞ  
くことができました。

(完)

に安らぐ  
ひとときを  
過ごさせていただけ  
ました

しょうじのみぞの  
説明などわかりやすく  
お返もきれいで  
よかったです！

自然が  
たたく音  
すてきな  
音の響き  
を  
感じ  
ました

お庭が  
とても  
きれいですね

高低差 = 身差の  
つくりや。  
障子・天井の工夫・下り階段  
とても安心感に満ちました！  
音の受けも守り続け  
て伝えていただけることに  
感謝です。

障子が実用的かつきれい！  
籠の紙の気遣いもたがたす



障子のデザインが  
すてきでした

はじめて伺いました。  
お庭の景色も  
書院のおおらかさも  
とてもすてきでした！  
又来た...です♡

紅葉のよい時期に  
こゝに良かったです。  
次はお茶頂上に来ます。



庭が美しい!!  
ゆったりした気分に  
なれる素敵な  
住居ですね  
住んでみたいわ。

角度によつて  
見え方が違うのが  
かっこよかったです!



改めて、

日本の文化は  
静寂と文感が好き。  
季節と建物が合っていて、  
すばらしいです。

それぞれの天井に特徴があって、  
何ぞその作りになったのか、を  
知ることができるとも楽しかったです!!  
また来たいです④

上段、中段、下段にわかれ  
ていて当時の時代の  
区分制度が分かりました。  
昔の造りで、タイムスリッパ  
した気分でもとても  
楽しかったです。

● R.4.11.13 ●

お昼寝したい...

ポカポカ陽気の1日を。

ウクライナにもこんな  
のんびり平和  
訪れますように。

天井が  
あみこみさし  
びいっ  
ていた!

初めて来ましたか。  
とても いい所で 感  
激です! 説明も聞けて  
良かったです。ここで  
働きたい!

昔ながらの造り  
が面白かった!  
爆竹のお話が  
聞いている昔の技術、こ  
すこい! と思いました。



庭園、南取り、天井  
など趣があって面白い  
いろいろな天井あるのですね。  
説明が聞けて、より  
面白かった。

もみじがきれいって  
お天気よく  
素晴らしいです



璉城寺 58枚

5月にお参りに  
伺いたいと思っております。

2022 1/6 → 1/13  
奈良町見知り  
今在家にある  
鍛冶屋 cafe も  
かじせん よしくね。

雲の上にとくとく立たい  
阿弥陀如来様  
世界が戦争なく皆が心穏やかに  
暮らせますよう。お祈りいたします。

女性のほとけさまは  
始めて見ました。  
すごくきれいな仏様  
でした。

初めての  
璉城寺  
仏様の絵は5冊に来ました！！

ステキな仏様でした。  
ごりやくが有りそうです  
慈悲にみちみち  
とてありがたき気持ちに  
なりました。

阿弥陀如来様  
の絵は5冊  
に来ました！！

愛媛から来ました。  
次は是非5月に！

秋晴のいい日に、  
お目にかかれて  
喜んでいます  
2022.11.10

お目に掛り畢に恵られ  
感謝します。

璉戒奇巧の前又道は  
よく通りすがりにこぼれに買  
い戻があらわすのを喜び  
おりました。又5月にお参り  
させていただいたことです

50年に一度の佐縁の日に  
来られ、お阿弥陀様に  
念入りにお参りして、  
お体どうですか

すてきな仏様に  
めぐり合えられた  
こと  
ありがとうございます


初めて見  
白色仏の  
有難さか  
ら  
21.  
10.  
10

初めて璉戒寺に来られ  
奈良にこんなステキな  
お寺があったのだと今さら  
ながらびっくりしています。

すばらしい仏様  
と身の上。女性  
ありがとうございます!

拝観3回目今日  
ゆくり拝見し  
りんが有難さを感心し  
御幸の仏像が平永く  
下見有ることを知る

璣域寺には  
3回目です！  
阿弥陀様には  
ふんがいのまま  
ゆくりのよう  
まじりか

  
着段通、てる道の  
側にこんなステキな  
お寺があって驚き！

近鉄駅前の  
行基こころ  
見させて頂くの  
修行の  
はりまら

仏様にお会い  
できた御縁に  
感謝します。

一体、一体の仏像のお話  
しが聞けた。とても興味か  
もてました。仏様を美しいと  
思て、拝がせられた  
は初めてでした。

大きなお地蔵さま  
にビックリ...！  
  


丁寧な説明の後  
美しい仏様たちに  
ゆくりお会いでき  
幸でした。

お庭のハートの石  
がすごくきれいでした！  
いい天気よかったよ

以前 まりかのきれ  
いな頃に参りました  
秋のお庭もステキです  
仏は におやかな  
女性に見えます

袴を付けた 仏様  
と比べて袴を付けた  
台座も 素敵でした。

奈良アソビの史跡めぐりで  
璣王寺に参拝ひき。  
普通は見かけない  
阿弥陀如来像 他が  
拝見でき、本当にありがた  
いと思います。ありがとうございます

すごくいいところ  
でした。これよかったです。  
さる

とても美しい  
仏様を見せて  
頂き ありがとうございます  
ご縁に感謝！

阿弥陀如来様  
女性で立派な法衣を着られ  
大変美しいお姿を見られて  
良い一日でした。

お寺、かみ丸クリスタルの来歴です。  
今日、お寺から帰ると思えば、  
今、お寺の中へ

阿弥陀如来立像  
いいお顔でみごとくお姿を  
よかったです。ありがとうございます

心やまらぎ  
すまはさま  
ふした。  
ありがとう御座いました

特別公開に幸ひて最高の日  
でした  
御禮も御覧下さい。  
マコトと野向をすばしした。  
RA. 11.10

奈良に住んで55年！  
今の市立奈良病院で  
子宮がん手術を43年！  
なのにここ穂城キさんと知らず  
初めて来られていたときでした。  
2022.10/16日  
感謝です！ 清子

楽しいひとときも  
感謝です

清々しい思い  
で一杯です。  
ありがとう  
ございました  
2020. 11. 10

二度目の  
参拝です  
前回因幡美し  
姿の仏称を拝見  
して改め  
感謝の心  
世界に平和  
を祈ります  
ありがとうございます  
2022. 11. 10

かっい仏様です

古式ゆかしい  
お寺で感激いたしました。  
お話も楽しいです。  
貴重な禱も拝見せし頂きました  
感謝です！ RA. 11. 11

白色の美しい阿弥陀様を見せて  
いただき感動です。秋仏として守る  
ことがたいへん大切な珍しい  
袈裟付けてある禪体という  
ことで本当に驚きました。  
ありがとうございました。

美しい仏様に  
お会いできてとても  
うれしのです。

この様な仏様  
はじめて見ました。  
美しいです。

二度目訪問です  
せいかくの雨ですが  
お庭もふせいがあり  
すきです。

また、5月に来ます。  
よろしくお願ひします。

ふたたび見ることか  
できたよ。仏様  
珍に美しい仏様  
でした

美しい 阿弥陀様  
観音様 又、  
菩薩様。 おせて  
いただきました  
ありがとうございました  
南無阿弥陀仏

古代の氏寺・経寺に  
来られて  
よかったです。

入4 11.10  
ゆーくり  
ごいねい  
説明して頂きました  
ラッキーでした！  
お福のしつかりと  
みせてもらいました

阿弥陀如来像が  
等身でとても美しい  
仏さまだと思いました。

おだやがよ小春日和に  
こちらに来られたことと  
ありがとうございました。  
5月に 来ます。

南無阿弥陀仏のつら軸  
はじめてみました。  
裸体の仏様、はじめて  
珍しいものでした  
ありがとうございます

柔らかな表情  
引き込まれました。

阿弥陀如来立像  
めずらしい女性の裸像で  
のたに見るゆえに  
見せられて 幸せです。  
ありがとうございます

観音様のお姿に  
しばしば見とれてたずん  
でいました。5月には  
又、観音様にお会いし  
たいと思います

三体は大変美しい  
仏様でした。特に  
観世音菩薩の優美さ  
は、気に入りました。

ロク、二  
唯一  
女性全体の  
サマタイム？  
チハットイム教  
の教えとの関連は

五月のハニマツリ  
も心に残るこ  
いまま  
美  
うく  
優  
び

<設置場所>

インフォメーションブース（奈良町物語館） 11/6～13

旧細田家住宅 11/12・13

今西家書院 11/6・8-13

璉城寺 11/10-13



**奈良町見知り 2022年度 事業報告書**

2022年12月発行

奈良町見知り実行委員会

奈良市

